京城日報

一月十六日夕刊 (朝夕併せて八頁)

◇講和會議開會式

二十日擧行巴里紙の所報

公式講和會議の會式は二十日擧行の豫定なり、巴里紙所報に據れば國際聯盟の細則決定は將來に於るライン河國際航空問題に就き協議する事となるべく又英國は植民地に關する要求の外亞刺比亞諸州の保護權を獲得し以て亞弗利加諸植民地との聯絡を圖る可く亞刺比亞諸州は右に關し異議を唱へざる可しと(巴里電報)

◇最初討議の問題

國際聯盟組織原則

英國政府の意議に據れば講和會議に於ては最初に討議せらるべき問題は國際聯盟問題なるが當講和會議開會早々國際聯盟組織に關する原則並に各種講和問題解決に對する綱領原則を決定せんことを要求すべし各新聞は佛國外相ピション氏が穩健派は勿論全部の社會黨過激派政府を相手にせざることに決定せる態度に滿足し居れり(倫敦電報)

◇最高軍事會議

徹底的休戰條件

外電に依れば近々ヴエルサイユに於て聯合國最高軍事會議開催せらるべきが右は多分陸上方面に關する對獨休戰條件に就て行はるるものにて即ち海上に關するは可なり峻嚴に行はれ現に戰爭に堪へ得る艦艇は勿論最近未成潜航艇も抑留監視することゝなりたるを以て海上に於て獨逸の再起不可能は到底免る能はず又陸上に於ては獨逸は撤兵しつゝあるも飛行機大砲其他の軍需品の引渡しは完了せられず武裝の儘撤退し居れる者なれば決して安堵すべきに非ず殊に近時聯合國陸相の演說中にも此間の消息を吐露し又英當局も復員を躊躇しつゝあるも亦獨逸陸軍の現狀を考慮せる結果に外ならず依て聯合國軍事當局は更に何等かの徹底的休戰條件に就きて協議する所あらんとするもの、如し(大阪特電)

◇過激主義協議

講和豫備會議に於て過激主義は世界の平和を直接攪亂するものなれば他の問題を措き先づ本問題を協議するよう英、米、伊委員間に協議纏れり(巴里電報)

◇各國參列代表者

十三日午後聯合國最高委員會議に於て決せる各國參列代表者は英、佛、伊、米、日の五箇國は各五名伯剌西爾は三名、白耳義、塞耳維、希臘、波蘭、チエック、スラヴアック、羅馬尼、支那は二名、葡萄牙一名南中歐帝國と外交關係を斷絶したるに止る諸國は一名、加奈陀、濠洲、南阿弗利加、印度、ニウジーランド、ニューフオンドランドは一名なりと(巴里電報)

◇米遠征隊派遣否認

米國々務卿は米國の波蘭遠征隊派遣を否認せり(紐育電報)

◇獨潜艇殘餘抑留

休戰條約の結果聯合國側海軍委員に引渡されたる獨逸潜航艇數は全部即ち百六十隻の中百二十二隻にして之等は現に英國ボッス其他の港灣に抑留監視中なるが其後最近に於て未成潜航艇及び百二十二隻以外の殘艇併せて五十餘隻あることを發見したるが此の分は直ちに使用し得ざるを以て獨逸側に於ては之が引渡しの必要なきものと思惟し居りたるも聯合側委員に於ては之を抑留することゝし不日英國に廻航監視するに至るべし而して其處分は講和會議に於て決定すべしと(東京特電)

◇共和國創立宣言

獨逸社會主義者はブレーメン(獨逸西部三市の一)に於て新に共和國創立を宣言せり(倫敦電報)

◇廣東軍政府改稱

十一日附廣東軍政府を護法政府と改稱する旨の宣言書を發表せられたり(北京特電)

◇外米買附

十五日開會せる米穀取引所聯合會にて外米買附決定せり(東京特電)

◇生絲業者渡米

横濱名古屋宮城熊本各地方の生絲業者相謀り米國當業者を訪問して意見の交換を爲すことに決定し來る二月上旬横濱出帆米國に向ふ由なるが委員十八名中關西地方よりは熊本の中野友禪氏渡米すべし(東京特電)

◇輸送事務所

滿鐵にては今回新に長春に臨時軍事輸送係事務所を設置し係長に大連管理局運輸課長貝瀬謹吾氏同係員に同管理局吉田、森田、西山、波田、龍田、梅田並に京城管理局より浦谷、中山の八氏任命せられ廿一日より事務開始の豫定なり(大連)

◇滿鐵滯貨輸送

朝鮮線貨車應援

滿鐵社にては今回滿鐵線滯貨輸送の爲め朝鮮線所屬の貨車七十輛を應援として使用するに決定せり(大連)

烏拉爾より (四)

從軍記者 金谷 眞

◇ウラル戰線の中央、リュボフ將軍の前面にカマ河(ヴオルガ上流)に沿うた突出地點がある、他の方面が皆過激派軍に押されて居るのに此處のみ獨り狂瀾を既倒に支へて居るのは何うした譯かと訊くと此處には二箇處の巨きな兵器製造所があるからである。

◇此邊は無論カマ河畔の大平野であるがこれまで善く敵軍を支へ得たのは主として同地に於る一萬二千人の職工の力であつた、職工はブルジュア(中產階級)であつた爲め最初から過激派に反抗して起つた頃日は漸次北のペルム市方面に押されつゝ同時に敵を追ひつゝ退つてゐる數日前もチエリヤビンスクのスイロウイ司令官の許に兵器彈藥を請求して來てゐた、露西亞でも恒產あれば恒心あると見える。

◇ウラル山中の停車塲の名には這麗しがある『黄金の口』(ヅラトウスト)此處には製鐵所がある、『銀の脈』(スイロスタン)『山脈』(アレイツト)『鷹の村』(クロバチオ)『大膽の村』(ムラーモルスカヤ)『狼の村』(ホルツネワヤ)など

◇オムスクでは蠟燭一本が四留もするのに石油は何處に往つても一滴もなかつた、然るにチエリヤビンスクに來て見るとウラル西方のウファから盛んに石油列車が來て驛の傍の大タンクに收られる

◇ウファのは高加索のバクー地方からヴオルガ河を遡つてカマ河に入つて更にベーラヤ河により運ばれるもの石油車は特別に機關車の如き形のもので運んでゐる、然し一般市民の需要は充たされぬ、石油購買人は司令官スイロウイ少將の許可が要る。

◇エカテリンブルグ市には目下チエックの國民委員會、南スラブの國民委員會、波蘭の國民委員會などいふのがある、何れも露國々內に於ける政治機關の一つであるが此の大戰亂後の好機會によつて新らしい獨立國を組織しようといふのは何れもの希望であらう

◇しかし戰後の地圖は果して什麼な色別けとなるか頗る紛糾混亂するであらう、現に波蘭と小露西亞とは土地の問題でお互同士に戰爭を始めて居る始末、同民族の一致團結といふことも却々容易のことではあるまい

◇チエリヤビンスクで得た情報によると露國政府にては一日に紙幣九十萬留を發行して居る、而して十日までの內外債は實に二百億留で來年一九二〇年の豫算は歲入が百廿七億三千萬留で經常收入は廿億殘り百億は特別戰時稅である、また歲出は二百九十一億三百萬留で歲出の不足額は百七十七億三千萬留に上る(十一月十二日チエリヤビンスクにて)

◎二億圓の鐵道借款

吉會線の全通は約五年か

岩佐興業銀行理事談

十五日夜入城せる興業銀行理事岩佐毅氏は北京に赴いて六年振りで歸へり久しく滯在中の事務に就き語らすなどと前提しつゝ語る

▲今回の北京行は鮮銀、殖銀、興銀三銀行と支那政府との間に豫備契約を締結し前渡三千萬圓を引渡し同時に吉會鐵道滿蒙四鐵道濟順高徐二鐵道の借款本契約締結のためである、十六日夜京城發十八日大連に赴き滿鐵と打合せを要する事あり、而して前記の各鐵道は資金を供給するも工事は

▲滿鐵の手に俟つ 事となつてゐるから本契約の締結前契約を締結せねばならぬ、鐵道借款の調印は既に吾々の方より支那政府に提示はしてゐるがこれから行つて遂條審議的に交涉を進めねばならぬのであり、對手は支那の事だからその調印を見るのは何日頃になるか一寸分からない、然しながら借款本契約の調印は遠からず出來るに相違はない、支那借款に對しては日本政府の方針もあり、又支那政府の考へもあらうが、兎に角成立をさせねば去年の六月と九月に渡してゐる前渡金三千萬圓の返戻を求むるのであるから旁支那も成立さする腹は有つてゐる、借款は吉會鐵道に約六千萬圓內外滿蒙四鐵道に一億餘圓濟南順德高密徐州線に四五千萬圓總計二億餘萬圓の大借款であつて銀行團(三銀行の)成立をすれば支那政府發行の公債を

▲市塲に公募を する事にならう、工事は調印が出來資金の引渡しをすれば直ちに開始すべくその點は滿鐵にて相當の準備を講じてゐる筈だから吉會線の如き五年もすれば無論全通するであらうと思はる、さて吉會線が出來て吉長線と朝鮮の清會線を繫いだ場合北鮮の吞吐港をドコに求めるかが當然清津と云ふ議論になるかと思ふけれど清津の築港は予等の見る所では到底不可能であらう、若しやるとなれば數千萬圓を必要とすべく果して左樣の投資を支出して清津築港を行ふ價値があるかどうか、寧ろ北鮮鐵道線により元山と

▲北滿を連繫し 元山の港灣設備を大に改善したがよくはないか、その邊は政府當局に於て研究中であらうが、吉會線の全通までには何とか目鼻をつけたいものである——內地の事業界は反動的悲運免れ難し、何しろ今日の如き膨脹は戰時の變調である、之が平和に戻れば孰れ相當の打擊を受くる事は怪しむを要せない、大阪は今度の戰爭で最も盛運を呈しただけ反動も亦眞先に受けてゐる、難局に立てる業は既に餘程あるやに見ゆる、而し朝鮮はそこに行けば潤ひを多く吸收してないだけ乾くことも低からう、唯昨年の貿易が若干の出超を示せるは正しく

▲戰爭の影響と 考へる それにしても朝鮮貿易の出超を見るに至つたと云ふ事は予等在鮮時代の往年を追憶し感慨淺からざるものがある

◎總督岩國滯在

東上の途にある長谷川總督一行は十五日下關着其より岩國に向ひ十九日迄同地に滯在の旨北の筋に電報ありたり

◎總監午餐會

山縣政務總監は十七日午後零時半より目下開會中の各學校長及び學務關係職員二十五名を朝鮮ホテルに招待し午餐會を催す由

◎政務總監引籠

山縣政務總監は病氣にて引籠り中なり

◎學校長會議

官立學校長會議第二日は十六日午前九時半より總督府第二會議室に開會總務局長以下臨席の下に開議日程に入り午前午後に亘り諮問事項の答申あり同四時散會せり

◎米穀滯貨狀況

廻送能力を超ゆ

朝鮮鐵道管內に於ける十日現在の米穀滯貨數量は二萬二千六百三十三噸にして之れを前週末の一萬七千噸に比すれば約四千噸の增加を來せる線別は左の如し

京釜線	一五、一〇八噸
湖南線	一、〇〇四
京義線	四、七〇八
京元線	一、八六[illegible]
平南線	[illegible]
合計	二二、六三三

にして滯穀の最も多きは平澤の四千三百噸鳥致院の二千百噸天安の一千三百噸金泉の一千噸等なり

▲現在の輸送力 全線の滯穀狀況の如きが更に朝鮮線に於ける一日の米穀輸送力は約一千六七百噸に上り居れり然も右の如き全線滯穀の增加は輸送力を超越し居れるに起因すべく目先米穀の各驛停滯は漸次輸送力減あるに伴ない一層其の量を增すべし

▲釜山仕向多し 輸送中の滯穀仕向先は客年十一月中旬迄は仁川の貨行ありしに拘らず依然として釜山多く現在の滯穀を區分すれば釜山一萬四千噸群山一千噸南大田二千二百噸仁川二千噸となり仁川仕向けは京釜線大田以北並に京義線の一部に限られ釜山の全部に比すれば遙に低位なりと

◎汽鑵車製造

龍山工場計畫

滿鐵京城管理局所屬の龍山工場は數年來既定計畫による擴張工事を實行しつゝあり唯歐洲戰亂の結果輸入に俟つの外なき諸機械類の購入延引するを以て自然その竣成時期は遲延し居れるが戰亂も終熄するに至りしを以て目下の所にては來る八月末頃を以て工場の擴張完備を見るべく然る上は現在一千百名の職工は漸次一千四五百名に增員の必要あり一方設備の完成と職工の手揃ひとにより汽鑵車の新造を開始する意あり由來鮮鐵に於けるその所要汽鑵車は大部分を英米に仰ぎその一部を滿鐵沙河口工場に註文せるが沙河口工場の分は別とし外註文品は新造その物の費用は必ずしも高値ならずと雖も運賃保險料並に組立等に巨費を要し更にその輸送の時日を多く費さざるべからざるに付出來得る限り自己の工場に於て新造するを有利とするもの、如く更に鮮內の輕鐵大に普及するに至らば各輕鐵所要の汽鑵車も京管局に新造を求め來るもの少からずと豫想され現に朝鮮輕鐵の如き既に十臺の新造を註文し來れるが京管當局にては着々計畫を進めつゝありと

◎釜山電燈値上

問題と當局

長官對會社命令

釜山の朝鮮瓦斯電氣會社にては過般遞信局に對し現行料金の三割引上げ認可を申請し來れりその理由は前一萬斤四十圓內外の石炭價格四十圓乃ち約三倍半に騰貴せるが遞信局長官は十五日慶尙南道警務部長を經て會社に對し左の命令を下せり

一、釜山電燈の電壓は從來規定以下のもの多くその結果として光力薄弱に付全部規定に適合するやう相當壓力の增加を圖る事

一、發電所內の發電機と原動機を切替の場合毎夜一二分若しくは三分時に亘り消燈するを常とするこれ裝置の不完全より來るものに付改善を急ぐ事

先づ以上の改善方法を講ぜざる限り電燈料引上は認可し難し尙ほ容量の設備を設くる事石炭瓦斯發生爐の修理を完成する事を大至急實施し更に引續き將來の需要に對應するため發電力の根本的改善を實行する事を附帶命令とせしが結局會社にて以上の改善を行ふに於ては會社申請の如く三割の引上は容認せざるべきも一割乃至二割は石炭高値時代を限り許可する方針なる如し

◎朝鮮輸移出稅全廢

四月一日より實施=當局の說明=

朝鮮關稅定率改正は十六日附制令第一號を以て勅裁を經て左の通り公布さる

第一條 朝鮮に輸入する物品には別表に依り輸入稅を課す

第二條 從價稅品は輸入港に到着したるときの價格に依り課稅す

第六條 削除

別表中輸入稅表第一百十九號の次に左の二號を加へ輸移出稅表を削る

一二〇 馬 同 一二一 綿羊 同

附 則

本令は大正八年四月一日より之を施行す

又朝鮮關稅令中改正の件は同日制令第二號を以て左の通り公布されたり

第一條 朝鮮に輸入する貨物には朝鮮關稅定率令に依り關稅を課す

第三條中又は輸出を削る

第五條 削除

附 則

本令は大正八年四月一日より之を施行す

右兩制令に依り愈朝鮮の輸移出稅全部の撤廢は本年四月一日以降實施せらるゝ事となれるが右に就き當局は說明して曰く朝鮮に於ける輸移出稅全廢並に馬及び綿羊の輸移入稅廢止に關し朝鮮關稅定率令及朝鮮關稅令中改正の件は一月十六日制令第一號及び第二號を以て公布せられ孰れも四月一日より施行のことゝなりたるが朝鮮の輸移出稅は韓國併合後輸移出貿易奬勵の目的を以て明治四十五年既に其の大部分を廢止し其の他は財政上の理由に依り比較的纒りたる收入を得べき物品中輸移出稅の

▲負擔が比較的 斯業の發達に影響する所なきものを選み小麥、大豆、小豆、荏胡麻子、牛、牛皮、石炭及び鐵礦の八品に對しこれが輸移出稅を存置し現に八十五萬圓の收入あるも將來之れが改良增殖及び對外販路の擴張を圖るべきものなるが故に之れが輸移出は財政の許す限り速かに之を廢止し產業及び貿易の發達に資するの必要あり依て大正八年度の財政計畫に適當の按排を爲し同年度以後輸移出稅は之れを全廢することゝせるものにして又馬及び綿羊の輸移入稅廢止は朝鮮馬匹の改良增殖及び綿羊飼育の奬勵に伴ない馬及び綿羊の輸移入を奬勵する爲め課稅廢止の擧に出でたるものなり

◎商銀米穀貸出

朝鮮商業銀行の仁川、群山、平澤三地に於ける米穀貸出狀況を聞くに仁川に於ては最近約百五十萬圓、群山に於ては百萬圓、平澤にて五十萬圓、約三百萬圓に達したるが出廻り增依然たるに付未だ多少の增加を來すべしと

◎商議豫算編成

京城商業會議所にては目下大正八年度の豫算編成中なるが近日中役員會に附議し遲くも本月末迄には監督官廳に對し之が認可申請を爲すべしと

◎國分次官東上

李王世子殿下の御慶事に參列すべき李王職次官國分象太郎氏は三原屬を隨へ十七日午前八時四十分發列車にて東上すべし同次官と同行の筈なりし田中庶務課長、田中(德太郎)贊侍の兩氏は都合により十九日朝王殿下御使一行と共に東上の事に決定せり

◎佛國飛行將校

佛國飛行將校ヴァザン大佐一行四名は十六日朝釜山上陸北行せり(釜山特電)

◎關口事務官動靜

入城中なる總督府事務官關口泰氏は十六日中央試驗所男女高等普通學校及び東亞煙草會社等を視察せり

◎岩佐理事動靜

入城中の興業銀行理事岩佐毅氏は十六日總督府、朝鮮銀行東拓支店等を歷訪し後九時四十分大連經由北京に赴く

◎村瀨氏出發

內國通運株式會社取締役村瀨鎌治郎氏は赴任前より病氣に罹り永らく療養中の處此程漸く快癒したるを以て十六日夜南大門驛發列車にて出發赴任すべし

人事消息

▲岩城信太郎氏(土木局釜山出張所技師) 鎭海市街經營に關する工事視察の爲め十五日附を以て鎭海に出張を命ぜらる

▲伊森盛三氏(專賣課開城出張所長) 人蔘耕作狀況視察の爲め忠淸南北道內へ出張を命ぜらる

▲石田法官部長 朝、軍法官部長に轉任せる氏は十八日午前九時十五分龍山驛發の豫定

▲大塚少佐 北鮮方面視察中なりしところ十五日夜歸任

▲志賀良三郎氏(遞信局庶務課長) 十六日朝釜山上陸(釜山特電)

八面鋒

◆海洋の自由と國際聯盟はウイルソンの提唱也、而も海洋の自由は最早講和會議に上程されず、國際聯盟は英國案採用さるべしと傳へらる。たしかにロイド、ジョージ、クレマンソーの勝利也。

◆講和會議は先づ獨逸の賠償問題に付いて協定し、聯合軍の手より食糧救濟の法を執らんとすと。成る程賠償を望むも、相手が喧嘩中にては取る方法も無かるべし、騷動の發端が食糧缺乏に大なる關係を有せば、此の際食糧救濟は可ならん。鱈腹食はして措いて扨て、と云ふ寸法か。彼果して衣食足つて、禮節を知るの徒か。

◆須磨子殉死し、幽閑藝妓となり殘れるは問題の女日向きむ子也。而も彼女も亦九歲年下の花婿を持てりと。結極納まりが付けば結構也。

◆西園寺特使の行列は、如何にも花々し。云ふ迄もなく家は清華の名門鎌倉時代には皇室の外戚たり、將軍の親戚たり。侯今や最後の奉公として、遠く萬里の波を蹴破し、世界講和の大舞臺に立たんとす。老たりと雖も、尙は昔日の風骨稜々たるものあらん。

◆本場所大相撲は例に由つて盛ん也、西軍利有らざるも能く戰ふ、栃木山の躁急綱柳の爲に破られ、橫綱大錦の狼狽は藤の川の爲に屠らる、油斷は大敵也、之れ洵に於て著しと果斷を誇ふるもの。

▲薪 炭 山成德用品
▲新明太子 樽入り內地土產
▲石油各油 卸小賣
貿易商 雜貨商 京城本町三丁目 分藤富國太郎商店 電話長三〇八番 振替京城一七〇八番 電略(タ)又八(乙)

朝鮮學術研究會編 發行所 京城本町 三ツウツボヤ書店
中學校 商業學校 高等普通學校 女子高等普通學校
入學試驗問題集 答案
大正七年度 四六版二百餘頁 ▲定價金五十錢 送料四錢
入學の榮を得たき學生諸氏は至急本書を座右に備へられよ
發賣元 京城太平通 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
取次販賣所 大阪屋 ▲岩松堂

優等清酒
一鶴
發賣元 永樂町二丁目 本荘酒店 電話六五四番 振替京城六二〇番

◎謹告
▲愈々寒氣が襲來しました
▲米價調節の聲は一轉して炭價調節の叫となつて居ります
▲如何にして寒氣を凌ぎ又何を以て炭價を調節するかが刻下焦眉の社會問題であります
▲弊店が採暖裝置として最も經濟的衛生的にして且便利なる宮崎式ペーチカを御推薦するのは獨り個人經濟の爲めのみではありません
京城府漢江通八番地 宮崎組 宮崎吉太郎 電話龍山五四〇番 振替口座京城五四〇二番
說明書贈呈

補缺會員募集 一月十六日より毎週月、火、木曜
毎開會日外人教師出席教授す(午後七時半より)
旭町二丁目メソヂスト教會構內 電話二五六五番
實用英語夜學會

大正七年七月一日改正現行

◎ヴォルガ平野の戰線を視る(四)

光輝ある日本軍隊の代表者並に新聞通信員の爲に

◇桑木大尉と共にわが純血ロシアのカッペル將軍の午餐に招かる◇

席上文豪トルストイの孫、海軍少尉トルストイに遇ふ

歐露ツイマダ驛にて　從軍記者　金谷眞

戰火はためくイク河の第一線から歸つた自分はその日の午後四時から、桑木大尉と共にカッペル將軍の午餐に招かれた、食堂はツイマダ驛の待合室、平時ならば切符を求める旅客の群集すべき一室が今日の歡迎會場となつた譯である、食卓には將軍並に參謀長を首め大凡三十餘名の將校が居並んだ、しかし末席の年若き士官にはウオツカの盃がなくて古びた湯飲んで間に合せたのも戰陣のさまとて反つて興趣あるやうに思はれた、此の時將軍は起つて一場の挨拶を述べた『光輝ある日本軍隊の代表者並に新聞通信員の爲に祝盃を擧げる』と言ひ了つて

ウラ!!!ウラ!!!ウラ!!!

を三唱した

士官もこれに唱和した、中には『バンデヤー!!!』と叫んだ士官もあつた、續いて桑木大尉の謝辭があつて更にカッペル兵團の光輝ある戰捷を祈つた、食事は普通の露西亞料理でザクスカ拔きであつたけれども並居る人達は何れも和氣藹々、流石に白虎隊の一團であつた、席上の談話には是れまでのカッペル兵團の赫々たる勇戰談が試みられた、聞けばカッペル將軍はヴォルガ河畔のシンビリスクに生れた人で今のシンビリスク旅團は將軍の麾下に馳せ參じた軍隊であつた、將軍は此の方面の他の露國將校の如くチエックの軍人になつて居らぬ、將軍は唯だ純然たる露國の將軍として祖國を過激派の手より救ふべく努力してゐる、而して

シンビリスクに在つた

將軍の家族

は目下尙過激派の手に捕へられ最早半歲以上音信不通であると聞いた、將軍は曾し郷里シンビリスクに於ても過激派の包圍を衝いて一方の血路を開いたとがあつた、遂次ヲク河の戰線に雖の(ツイマダの後方)に於て敵の機關銃十六挺を鹵獲し敵の衞生隊を捕虜とし加ふるにペテログラード第八勞兵聯隊をも全滅せしめたものであつた、されば看板に『日本兵は何時來る!』などの聲を吐く者は一人もなかつた、此の時自分の前に坐する一士官が居た、從來シンビリスクの新聞社に居たさかで種々にはカッペル兵團の陣中新聞を編輯する人で日本に就いて質問を有つた人であつた『シンビリスク市の名稱は浦鹽、敦賀間の義勇艦隊汽船の名によつてわれく

日本人には

お馴染である』と言ふと當人は非常に喜んでゐた、

不圖將校が『伯爵』と呼んだ方を見ると今朝から度々顏を逢はせた丈高い一士官が顏を赤くした、士官は頰のあたりから黃金色の產毛を生やしてゐると年の頃まだ廿歲ばかりとも見ゆる男で何處となく貴族らしい面影のある青年であつた、傍らの大尉に『あの人は伯爵ですか』と尋ねて見ると『然り、伯爵トルストイ!!!』と答へた、文豪トルストイ伯の息にしては餘りに若し孫かと聞くと果して左樣であつた、伯爵トルストイはまだ海軍の一少尉でこんどカッペル兵團の參謀となつた人、自分はセバストポール要塞に從軍した祖父のトルストイの青年將校時代を思つた、背の高い貴族らしい海軍少尉トルストイは粗末な

鶯色の上衣

に黑い長靴を穿き白い耳には丸い耳環を下げてゐた、歲は廿二歲で十三歲までヤスナ、ボリヤナの村に居たがそれからはペテログラードの海軍兵學校に入學したと語る、パロンカの話れや祖父の『戰爭と平和』などを物語りすると席上はトルストイやドストエフスキーなど露西亞の文學談に花が咲き多くの日本人が彼等露國の文學を知ることを聞いては一同さすがに嬉しさうであつた、ツイマダの冬の日は早くも午後の四時には暮れて給仕女の橫顏がランプの灯影に美しく見ゆる夜となつた、再び將軍の暖かい掌を握つて此處を辭した、伯爵トルストイは身輕に軍用列車の世話をして呉れた、兵士の炊爨車に案內されて見ると卓上には勞れた兵士が

お茶を悅ん

でゐた、不圖赤十字の女が『貴下は大庭カギヤーキを知れるか』と訊いた、朝日の記者でペテログラードでよく知つてると云ひつゝわれ等にお茶を淹れて呉れた、われ等の列車は愈々ウファに向つてツイマダ驛を後にした『左樣なら!!!々々々!!!』伯爵トルストイは寒い軌道に立つて片手を振つた後につゞく軍用貨車の燈火がパッと彼れの姿を照すと共にツイマダの夜は總てのものを黑く包んで了つた、敵の騎兵がわれ等の退路鐵道線路の鐵橋を破壞したのはこれから數時間後の出來事であつた(おはり)

◇『偶然生還』◇に園侯決心を示す

橋本獨山禪師に宛た手紙

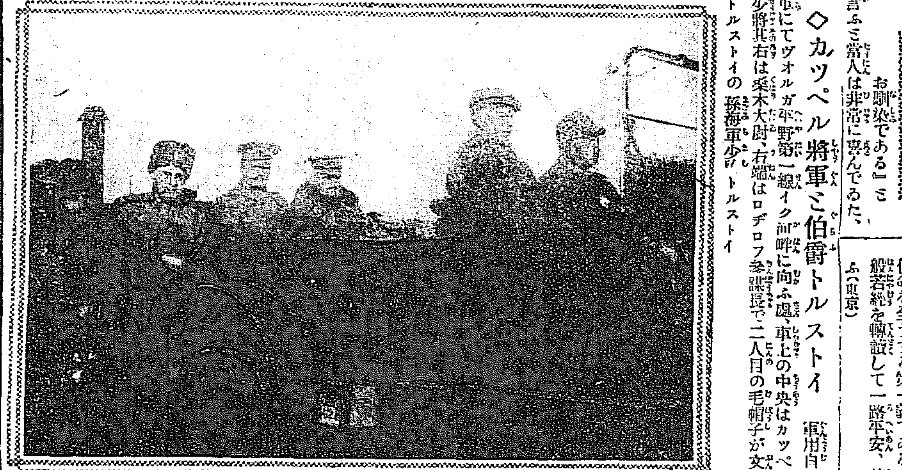
◇禪師感謝して其歸還まで大般若經を轉讀し使命成就を祈る

講和大使西園寺侯は、愈今十四日神戶出帆、世界の晴れの舞臺に向ふのである、侯は非常な決心で、使命を全うせざる限り死すとも還らぬ覺悟を、參禪の師たる臨濟相國寺派管長橋本獨山禪師へ宛て『自分は身に過ぎた重荷を背負つて佛國へ行く、偶然生還する事があつたら、菊香る秋の頃再び相見る事が出來やうと思ひ、それを樂みとして行く或は之がお別れとなるかも知れぬ』——と書き送つた、禪師は侯の決心に感激し『偶然生還』の四文字こそ使命を全うする第一義であると、十三日から侯の歸朝まで朝夕大般若經を轉讀して一路平安、使命成就の祈禱を修行し始めたといふ(東京)

◇全米國…五分間活動を中止す… ル氏の葬儀

〔オイスタベー國際特電九日發〕

八日ルーズヴェルト氏の簡素なる葬式行はれたり同日全國各地の主立ちたる町にては五分間の祈禱式の間一切の活動を中止せり遺族の乞により寺院に於ける葬式に列したるは五百名以下たりき遺骸は質素なる棺に斂めてオイスタベーに葬られたり(東京電報)



◇カッペル將軍と伯爵トルストイ　軍用自動車にてヴォルガ平野第一線イク河畔に向ふ處、車上の中央はカッペル少將其右は桑木大尉、右端はロデロフ參謀長で二人目の毛帽子が文豪トルストイの孫海軍少尉トルストイ

◎兩殿下、德壽宮御訪問

寒中御見舞

李王、同妃兩殿下には十七日午後一時半昌德宮御出門寒中御見舞として德壽宮に…

◎市會の選定せる夫と同棲し子女は勞兵會に敎育せしむ

ペトログラード市會は十八歲乃至五十歲の婦女は總て市會の選定せる夫と同棲し且つ小兒は親と同棲せしめず勞兵會指導の下に敎育せしむる事を決議せりと(倫敦電報)

◎御婚儀記念祝賀大會

兩殿下御渡鮮の四月に

◇夜は提灯行列　晝は旗行列◇

世子殿下と方子女王殿下の御婚儀明日も愈々迫つて來たので兩家御準備に日尙ほ足らざる有樣な兵が一方國民に於ては此御慶事を奉祝する爲め東京に於ては大祝賀會の計畫ある趣きなるが殊に朝鮮に於ては日鮮併合せられて以來一般國民は施政に安んずるを得て歡喜の裡によく同化の實蹟を擧げつゝある折柄の事とて此

◇御婚儀 が津々浦々に至る一般鮮人の如何に喜ばしく感ぜられた事でおらう中にも京城市民の如きは李王家のお膝元丈けに一層其喜びは深く何とかして御婚儀を記念せんものと過般來府をれ中心として各方面に亙り屢々會合協議を凝したる結果愈近日中に具體的成案の起草を見る迄に進捗し居れる由なるが聞く處によれば此御慶事は日鮮合同の御婚儀記念大祝賀會として府が中心となつて京日鮮市民の合同大祝賀會を開催する方で發行期は

◇御盛式 後兩殿下相携へて御渡鮮の祭行ふ事に決定して居る而し御渡鮮明は目下の處確定して居ないが多分花咲く四月の初旬頃と云ふ儀を聞く筋からの發表もあるので會の方に於ても其際擧行する事になつた其擧行方法に就いては發表されてないが晝は旗行列夜は提灯行列をやつて兩殿下の御機嫌を奉伺すると云ふのが眼目らしい

…し王殿下と御會談の上午後四時半御還宮相成るべし

◎九歲の少年 弟を射殺す

◇土產物の爭ひから 十二日午後四時長野縣下伊那郡山本村岡庭德一の三男芳興(九)は元男芳雄(七)と隣家より貰ひたる土產物を爭ひたるが芳興は『俺に呉れねばお前を殺すぞ』と言ひ乍ら自家にありたる鐵砲にて弟芳雄を一發の下に打殺し弟が即死せるより驚き騷ぎ家人より其の筋に訴へ出でたり(長野)

◎八十五萬圓を犧牲として……

輸移出稅を全廢す

◇小麥、大豆、鐵鑛も免稅になつた

この上は朝鮮物產の內地移入稅を撤廢したい

朝鮮の輸移出稅全廢も久しい希望であつたが愈本年の四月一日から實現する事になつた之からは朝鮮以外に持ち出す物產は何品に依ず朝鮮の稅關で稅金を取られる事は無くなる譯である一體朝鮮の關稅と云ふものは

▲日韓併合 の際に列國に向つて聲明してある處の合併の年即ち明治四十三年から十箇年間は相變らず依て五分に當る稅金を取り之れを据置く事になつて居たので其稅率も總て從價五分即ち其品物の產額を激違させる爲めには斯樣な障壁を設けて置く事は甚だ面白くない事で之を撤廢するもそれ丈け廣く朝鮮の物產を他に販賣する事が出來商略上甚だ有利となる

▲益々促進 する事となるは朝鮮の產業を加之運輸の手數を省き商機を逸する憂も尠くなり從つて結果處から當局に於ても夙くから此點に鑑み明治四十四年には今回輸移出稅を撤廢された小麥、大豆、小豆、作胡麻子、牛、石炭及び鐵鑛の八品を除く殘り全部のものに對し輸移出稅を免除し今日に及んだので依つて輸移出稅を廢される事になり之で全部の物產が無稅で出づる樣になり之で朝鮮が內地其他に對して販路擴張に非常な利益となつたその代り總督府は八十五萬圓の

▼關稅收入 を棒に振つた譯であるが朝鮮全體の利益から見れば之位の犧牲は厭いものである然し之のみでは未だ滿足は出來ぬ之から內地の朝鮮物產の移入稅を撤廢して貰はねば百里の道を五十里步いた事に過ぎぬ尤ち或物例せば米とか牛とかに對しては無稅の取扱をして居るが未だ免稅品は僅である怎うかすると歲暮や年玉に朝鮮から送つた品物に內地の稅關で移入稅をかけられて飛んだ間の惡い思ひをする事さへある

◎榮轉の松木大佐

新任陸軍省副官

◇赴任は十八日　今回の陸軍移動に朝鮮の七十八聯隊長から陸軍省高級副官に榮轉する龍山步兵第七十八聯隊長松木直亮大佐を十六日午前龍山なる第四十六號官舍に訪れる、未だ七五三繩の飾れてゐる打拔門を通つて刺を通ずれば『今日は非常に取込んでゐますから』といふので大迂廻して第七十八

☆聯隊本部 で初對面の挨拶をした、手に待ち侘へ、十時が打つても十一時が打つてもなかく姿を見せない、斯くて午前十一時四十三分になつて階間に奉賀章やら勳章をきらめかしながら『いやどうも今日の忙しい事つたらない』さばかり當番卒が持つて來た熱い茶をグツト一杯

★御榮轉 お目出度うといふ記者の挨拶に答へて『有難う』と流石に包みきれぬ欣びを眉間に現はして『なる丈け早く赴任せよとの電命だからね、今日は午前中各所へ申告へ廻り午後も京城各方面へ廻る筈だ、あんまり在任期が短いと云ふのかね、——いや僕としては長かつた方だよ、申告が終り聯隊の告別式が濟めば忽ち赴任したい、勿論鄕里山口などへも立ち寄りはしない』と恐ろしく朝鮮に見切りを着け左の手で下腹部に佩つた陸軍大學卒業徽章をいぢつた

▽大佐の略歷 陸軍省副官に榮進した松木大佐は山口縣山口に生れ今年四十二歲明治三十二年少尉同三十三年中尉三十七年大尉同四十二年少佐に大正四年中佐同七年七月大佐に進み從五位勳四等功五級にして陸軍大學校卒業後獨逸に留學し其後第十三師團大隊長步兵學校主事陸軍省附等を經て昨年九月龍山第七十八聯隊長に補せられたるが現朝中陸相に次ぐ長州軍閥の龍兒なりと因みに十八日午前八時五十分龍山驛發赴任の筈なり

◎女學校の追羽子

大賑ひの書休み

京城高等女學校では十五日から晝の放課時間中追羽子を始める事になり生徒は手に／＼眼も醒るやうな美しい羽子板を持つて『一つ…二つ…』と盛んに突き廻つて居る、戶外は風があつて不可ないと云ふので何れも雨天

▽體操場 に立て籠り仲好し丈けで組合つたり學年に別れたり遊び方は樣々であるが、何しろ何百と云ふ生徒が一時に突き廻るのだから賑やかな話にならぬ

▽耳を聾 せんばかりの…声は宛ら小鳥の一群が集いた如くキヤツ／＼ガヤ／＼と云ふなく打ち興ずる聲と共にある、然し斯うした騷ぎの中にも如何にも正月に適はしい何處となく優雅な氣分の漂つて居るのは流石であると、職員の話によると此追羽子は毎年正月から二月にかけて遣ることで全く生徒の自由遊戲である、羽根や羽子板は

▽校友會 の費用で購入れるのだが今年は約二千ばかりの羽根を買つたとの事、行く／＼は海軍兵學校に於ける棒倒しの如く女學校名物ともなるであらう

◎日向きむ子結婚す

オーロラが取持つ緣で……

先年良人輝武氏を失つた日向きむ子女史(三)は四人の遺兒を擁して本郷湯島天神町三の二に化粧品店オーロラ本舖を經營して居た去年秋には神戶の聚樂館に

得意の舞踊を見せたりして未だ春にも富んだ身の殘んの半生は如何に成り行くことかと意地惡い人々の口の端に上つて居た所目出度く…な事には…君と輝武氏と…の事である

◇結婚式 を行つた同會館は群馬縣出身の彫刻師で林鶴吉氏…と云ふ本年廿七歲きむ子女史が販賣の化粧品を調劑して居た人で十三日夜八時赤坂靈南坂敎會でその華燭の典を擧げる事になり十三日東京區裁判所判事の三井久次氏及び敎會の小崎弘道三宅正彥兩氏の前に新夫婦は靜かに並んだ其日の裝は林氏はフロック姿五分刈頭に眼鏡を光らしきむ子女史は紅葉に白の裾模樣の紋付縮緬の帶も締らしかに房々しい束髮に鈴蘭の花を挿ませて一昔も若返つて見ゑたが流石きむ子女史が花恥かしい風情をして居つた

▽早く結婚した方がよい 小崎弘道氏はそれに就いて語る『一週間程前に結婚の話しが出たのであつて其後林君の方の家の方との交渉もあり日向君の方の都合もあつて遽な式を擧げる樣になつたのである日向君は再婚ではあるが其事は問はない事にして居る』と人は語る

◇問題を 惹き起し易き地位にあるので早く結婚した方がよからうと思ふ日向君は林君の お子さん四人は今後ともきむ子さんの保護の下に育つて行くでせう』と因に新夫林氏は以前より例の湯島オーロラ本舖內に止宿して藥學校に通學して居たのだ(東京)

◎廣岡淺子女史

女傑廣岡淺子女史は十四日午後八時東京にて逝去せり(東京特電)

◎安東縣近事

▲遞送探新年會　安東縣在住遞信關係者の新年宴會は十二日午後五時より公會堂に於て…

▲火藥會社創立　資本金一百萬圓を以て安東縣六道溝に創立せらるべしとの事なりし火藥會社は本月…

▲…滿鐵日々新聞記者矢橋良胤氏は十三日午後八時三十分發にて本溪湖へ向け出發せり

▲…及びブラゴエシチエンスクの方面へ出張を命ぜられたるが私用の爲め來安中不日出發すべし

◎賄賂金詐取　稅關を種に

…門里堤頭支店を再三訪れ稅關吏…に對し賄賂せば同店關係移入の貨物は迅速に取扱ひ關稅其他も…には美馬商會より十圓を詐取せし…前同樣手段にて十五圓を、同月末…

春場所星取表

(○勝●負や休×引分△預)

東方	西方
[illegible]	[illegible]

◎四日目勝負中八甲山に太刀光、阿蘇ヶ嶽は太刀光の勝

演藝案內

京城本町 電話五七八 壽座 大阪歌舞伎若手一座

落語 東京 馬生一行 金原亭 本日より 午後六時開演 各等半額 浪花館

◆大入御禮◆ 京山愛三大一座開演 浪花館

大正館 電話八七三 ドーグラス

浪花館 想夫憐 讀心術 吃又平

武藏屋新藏 全四卷

月魄 六卷

本町五丁目 電話三二八 文樂座

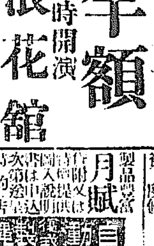
寫眞 京日寫眞製版部

有樂館 三人の名親 第三幽靈船 山の想ひ出

呉服屋で大成功

坂本商店

山口縣人會 山口縣人新年會 一月十九日(日曜日)午後一時ヨリ京城ホテルニ於テ



最上清酢 植山本家 三矢酢造場

養父岩下彌平儀豫テ病氣ノ處藥石無効午後十五日去致候ニ付此段生前ノ知諸賢ニ謹告仕候

一月十六日 京城古市町三十五番地 嗣 柴田初太郎 親戚 友永寅次郎 友人總代 三好和三郎

天氣　地方 京城 少雪後晴

……非常の盛會なりしと
▲將村通譯生來　海龍領事分館主任たりし通譯生將村武雄氏は今般……なりしと
……に於て新年宴會を開きたるが盛會……
▲公人私人　▲東……橋本氏は十四日來安十五日出發東上の途……
……子供の……居れり
▲騙取消費　……二十圓を騙取消費せしを手……
◎連絡船上墜客　……本月十四日……

◎日本一の酷寒…新レコード
森羅萬象悉く凍結す　國境の中江鎭
斯うなるとモウ寒暖計の目盛りもなくなる

左に掲ぐるは國境中江鎭測候所長七田秀隆氏の談なり（中江鎭）

本冬季中江鎭にては客月十二日氷點下三十三度半を觀測したるを初めとして十二月としては可成の低溫を時々觀測したので之を統計上より見れば本冬季はレコード破りをやるだらうと豫期し居たりしに本月一日半島を橫斷したる低氣壓の日本海へ進出するや大陸高氣壓は俄然半島に壓迫したる爲め中江鎭にては氣溫の激降をなし二日には氷點下四十一度二といふ低溫度を示し我日本（測候所の觀測）の記錄を作つた從來日本領土內で一番寒かつたのは

北海道の旭川にて

明治三十五年一月

二十五日に氷點下四十一度と云ふ低溫度があつて其の次が中江鎭の大正四年一月二十日に氷點下四十度八があつたが二日の最低にて愈日本一となつた斯の如き低溫を觀測するには觀測者の困苦は勿論器械即ち寒暖計に目盛がなくなる一證

水銀は氷點下三十九度になれば凝結

するので其の邊の氣溫を水銀寒暖計にて觀測するのは甚だあやしくなる當地にては今年より酒精寒暖計を以て最寒期に補測する事にしてある又最低寒暖計は酒精であるから心配はないが然し今度は餘りに思ふ有樣

寒暖計も目盛りが

氷點下四十度迄になつて居るので此の樣な時は平常用ひて居るリシヤール自記寒暖計の標準を變へて觀測すればよいが之れも甚だ注意を要するのである之は時計仕掛にて常に動いて居る物だが寒氣が強くなれば時計が寒さの爲に凍りついて止まる虞がある氷點下四十度ともなれば以上の如き故障をなくして觀測するには寒い所にて

非常な辛苦を要す

當地の如き所には少くとも氷點下五十度迄の目盛ある酒精寒暖計の必要がある苦辛はしても日本の記錄を作つた低溫度を觀測したと思へば一種の興味が出て寒さ寒さも忘れる位……一證

最低氣溫は夜明に

出來るから普通人は未だ床の中にあるか又は家の內にある故に寒地にては早起きして寒さを感ずるよりも床中にあつた方が得だから割方朝寢をやる樣で一日中の最寒時を家外に居る人は少い故に假令當地に居住する人でも氷點下四十度餘の外氣にあふ者はあまりなからう

そこで私は氷點下四十度餘の寒氣は

人體に如何に感ず

るかと云ふ研究心と好奇心にかられて曉寒時六時より七時迄の間約二十町を耐寒的步行をやつて見た所が其の時の服裝は通常著に耳覆ひと外套で特種の防寒具は用ひなかつたが

絕えず鼻を摩擦し

て凍傷の豫防をなす必要がありて又如何に摩擦するとも鼻口が凍りて時々は呼吸が苦しくなる樣な事もあり歸宅した頃は身體に一種異樣の感じがしたが家內に入りストーブにて暖を取つても體にだるみが來た樣に思はれたがあれで步行をやめて靜止の狀態になつたら先づ往生と思はる、之れで見れば人間は特種の防寒具を着せざる外は氷點下四十度になれば

外出は少々危險

かと思はる、京仁地方にて氷點下二十度にもなれば大騷ぎをなすが當地の如く四十度から降れば森羅萬象凍結して寧ろ靜止の體となる如何に溫突內に置くとも日常品は最も凍り難き酒や醬油も凍り油斷すれば寢て居る人間も凍るかと思はる當地にては近き將來にまだ

ヨリ以上の寒氣

を覺悟する必要があると思はる何となれば測候所は大正三年の創立にして觀測記錄は僅に五年の短期であるが其の創立前に於てはヨリ以上の寒氣が必ずありし事と想像さるゝと云ふのは

永住者の談に依れば

寒氣の爲に家畜の凍死があつたと云ふが今回の寒氣ではあまり見受けない爲に未だ暖かい方と思はるを以て中江鎭は勿論咸北咸南平北の國境附近に居住する人は相當の覺悟が必要と思はる

◎京畿檢米成績

客年十二月京畿道管內に於ける米穀大豆檢査總數は玄米十二萬六千四百三十七叺大豆十一萬五千十九叺中內米二千二百四十七叺に達せるが之を各檢査所別に擧げて取扱ひ成績を示せば左の如し

◆玄米　總數十二萬六千餘叺中一等合格米百二十四叺二等二千六百八十七叺三等八萬八千五百十叺不合格三萬五千百十六叺即ち

	檢査數	（一）	（二）	（三）	不合
仁川	三一、三三三	…	一〇八	一九、九九六	九九
南大門	一四、二四四	…	一三七	一一、四〇六	二、六六六
水原	七〇、六〇四	一一八	八九一	三九、九九九	三〇、一九六
烏山	三二、三二四	六	一〇五三	一六、四〇三	一五、七四八
平澤	二四、八〇六	…	二〇四	三七、九三五	三、七五七
計	一二六、四三七	一二四	二、六八七	八八、五一〇	三五、一一六

此の內夾雜物多量の爲め再調を命じたるもの四百五十八叺包裝不良同斷のもの一叺あり生產地の主なるものは振威郡五萬二千六十五叺水原郡二萬五千二百叺忠清南道一萬五千六百三十七叺高陽郡一萬四百六十六叺安城郡一萬一千四八百叺等なるが仕向地は釜山三萬七千仁川四萬七千大阪三千等は其主なるものなり

◆大豆　は總數十一萬五千十九叺內一等十一叺二等一千百八十一叺三等十萬二千十四叺等なるが之を各所に細別すれば左の如し

	檢査數	（一）	（二）	（三）	不合
仁川	一四、〇三六	…	九	一三、九〇一	一二六
南大門	七、三三八	…	…	六、七七七	五六一
水原	五、四九二	…	…	五、二六〇	二三二
烏山	六、七七七	…	…	五、二九九	一、四七八
平澤	一三、三七七	…	…	一〇、九二〇	二、四五七
西氷庫	一〇、四〇二	…	…	九、〇九九	一、三〇三
汶山	八、五一二	…	…	七、八一一	七〇一
高浪浦	一五、七四四	…	九	一三、九〇〇	一、八四四
東豆川	一三、〇〇六	…	…	一三、〇〇〇	六
漣川	二一、三三六	…	一、一六三	一八、一三四	二、〇三九
合計	一一五、〇一九	一一	一、一八一	一〇二、〇一四	一一、八一三

此の內夾雜物の量の爲め再調を命ぜるもの一千百叺容量の不足一千四百二千九叺包裝不良三百六十叺等ある生產地の主なるものは漣川郡二萬一千抱川郡三萬水原郡一萬一千忠清北道八千振威郡八千叺其他にして仕向地の主なるは大阪三萬一千叺釜山一萬叺仁川一萬二千叺下關四千叺神戶二千叺兵庫二千叺門司一千五百叺等なり

◆中白　中白米は總數二千二百四十七叺內一等百二十叺二等百三叺三等七百六十八叺不合格一千二百五十六叺生產の主なるは水原郡の二千叺にして仕向地は仁川五百叺釜山四百叺等なり（仁川）

◎漢銀と大邱
支店設置の計畫なるも許可さるゝや否や疑問なり

客歲東京に支店を開設したる漢城銀行は更に朝鮮の地方金融界に活躍すべく概近大邱の經濟力膨脹に鑑み愈々大邱に支店設置の事に決し數日前之が設置申請書を當局に提出したる由なるが現今四銀行を有する大邱に更に金融機關を設くるに就ては當局としても多少考慮を要する點あり且つ同業者間にも多少の意見あるやなれば果して許可さるゝや否や今遽に斷定し難きも近く許否何れにか決定を見る可し（大邱）

質の公設制（一）
平壤　磯野充章氏談

質の收益が元質に組み入るゝ白耳義の面白き質制度

歐州戰爭の推移に伴ふ社會現象を通觀せば國家社會政策の第一步として先づ下級社會に著目せざるを得ざるべし偶々一番に論すべき庶民金融機關として公設質屋の急設せらるべきを感じたるを以て是が實施により多大の恩典に浴しつゝある佛國官公設質屋の概要を述べんとす幸ひ公私の研究を促し得るとせば本懷とする處なり

先般金融組合の改正せられ一般庶民の爲め資金融通の途開かるゝに當り官廳の施設が如何に下級民の喜びを買ひたるや眞に慶賀の外なし然れども金融組合の獨占的金融機關たりしものが今回の改正により一般庶民の利用し得る處となりたるに過ぎず勿論此事が

金融上至大の便益

を與へしむるに至りたるは云ふ迄もなき事なるが金融組合と雖も貸出しに關し信用授受の狀態に至りては銀行業者の採るべきものと異なるべきものに非ず從つて銀行並に金融組合により受くる恩惠に均霑し得るものには自から制度あることは云はざる可らず金融組合が如上の關係にあるとせば下級人民の爲

如何にせば普遍的

に資金融通を與へしめ得るかを稽へ更に進んで社會救濟の實を得せしむるの途を講じたきものなり　歐洲の質制度にて放任主義の甚だしきは英國なりと雖も自今質制度改正の機運に向ひつゝありと聞く米國に於ても亦同じ我國に於て質屋營業を爲さんとするに當り

五百圓の資本にて

以て一家一族生計し得らるゝと云ふに至りては我國質屋營業者の內容推知するに難からず一般庶民救濟の實を完うし國家監督の下に質制度の

理想的に完備せる

は佛國なりとす、佛國舊式質制は第十六世紀の末葉に起りたるものにして佛蘭西共和八年セーヌ縣令は意見を公示して曰く『慈惠主義の質制は窮迫せる

細民に自活の途を

與ふる上に於て必要缺く可からざる施設なり之れに依りて細民をして生業唯一の資料たる動產及び商品を沒收せらるゝことなくして一時の窮を免るゝの利便を有せしめざるべからず』と千八百四年

質制を以て公設

機關となしたり爾來幾多の消長ありしが今や質屋の私營を禁ずるに至り絕對的公共主義の下に活躍しつゝ社會事業の一として認めらるゝに至れり、現に

一萬以上の人口を

有する四千有餘の都市悉く公立の質制を有せり、公共的理想を有すと稱すと雖も徒らに慈善をなすに非ずして寧ろ

小起業者小商人

の活動に資するに理想あるが如し伊國亦公設質制の生誕地たるの史蹟あり、白耳義も亦佛國に倣ひ而も質業の

收益を悉く元質

に組入れ年々貸出利率を減少せしむるに特色を存すプロイセン國公立質は公立貯蓄銀行の從物として發達し公私併立主義による質制なりとす（未完）

◎棉花不作の影響
全南の特產物も滅茶く

全南の特產品として其生產を誇れる棉花も不幸にして六分作と稱せられ一等棉として取扱はれしは其一部に過ぎず重に三四等棉として近來頗る其出廻り旺盛なるが其價格の高騰は又著しく去る十二日に於ける木浦の落札は一等棉として實に四十三圓臺に上り島嶼にても四十圓以上の處少からず爲めに農家はホク〳〵ものなりと（木浦）

◎兩銀行總會（大邱）　大邱鮮南銀行及び大邱銀行は孰れも來る廿六日定時株主總會開催する由なり

滿洲（奉天）

▲開原新報　奉天鶴岡永太郞氏主筆の開原新報は機械其他の整備成りたれば來る二月十一日紀元節に初號發刊の豫定なりと▲菊池大佐　昨年極月下旬以前の病氣捗々しからざる爲め再び赤十字病院に入院加療中なる奉天顧問菊池大佐は頃日來大いに快方に向ひ此の分なれば遠からず退院するも支障なかるべき模樣なるも今回は大事をとり十二分の快方を俟ち退院すべき豫定なりと▲小西支店長　鮮銀奉天支店長小西雄氏は十四日夜發北行列車にて鐵嶺開原地方沿線各地を經て大連旅順に向ふ豫定なり▲記者團新年宴會　在奉新聞通信雜誌記者一同は十五日午後五時半より醉山に於て新年宴會開催の筈なるが當日は赤塚總領事、宮越署長、須藤憲兵分隊長及び領事館、警察署、憲兵隊中の高級者も列席の豫定なりと

◎一日五人死ぬ
惡感冒の盛返

何人も注意すべきことは昨秋流行性感冒發生以來平壤府內に於ける死亡率は著しく激增せしが十二月上旬終熄と共に一時非常に減少せしが本年に入り又々感冒に起因する死亡者多く府內通じて一月一日より十二日までは六十三名即ち一日平均五人強の增率を示し居れりと（平壤）

◎木浦

▲電信激增　近來當地に於ける商況の殷賑に從ひ郵便電信の取扱は著しく增加し來りしが取扱數は各地方共其發信七、九七一通著信八、〇〇六通中繼一二、二八二通にして前年同月に比し發信一、七九三著信一、七七四中繼五、一八一通の增加を示せりと▲女學校增設か　木浦學校組合にては過日協議會を開き實科高等女學校々舍改造の件を協議せしが將來の爲め現校舍の南側へ新築し更に運動場を擴張せんことを協定し府にては本年度の豫算として計上する筈なりと▲營農者招宴　實業、鎌田、興業、國武の四營農會社支店は去る十日木浦記者團を木浦ホテルに招待し新年の盛宴を張りしと

◎貯へらるべき大同江の氷は
◆約百萬貫に達すべし◆

平壤地方に於て每年江氷を貯藏さるゝ數量は實に夥しいもので昨年の如きも六十五萬貫に上つてゐたが何しろ前年は人口の增加、暑氣酷烈等に起因して平壤府內に貯へられし氷室は市內に殆ど洪令を見ることが出來なかつた、加之九月入つては例の流行性感冒……

◎娼妓の褞袍

三菱兼二浦製鐵所坂本町舍宅居住富山縣新川郡五百石町一七三菱職工坂井正義（二八）は昨年十二月二十七日夜兼二浦榮町遊廓泉樓に登樓して娼妓……の所持品なる銘仙の褞袍一枚此の價格二十五圓のものを竊取し動を一枚着して遊興したる歸途來り太暗にも本年一月四日又々郡樓に登樓したるより訴へにより兼二浦駐在所の手に捕はる

◎放火狂捕はる　平安南道江西郡……山面新築里六四一洪興斗（……）は去る大正六年七月中より昨年六月中迄の間に於て同里鄭致先方外八箇所へ前後十回に渡る放火を爲し行方不明中なりしところ平原郡龍湖面……金欽籟宅に潜伏し居れるを瓶山憲兵分遣所の手にて取押へ目下取調中なるが放火の原因分明せざるも一種の放火狂ならんと云ふ（平壤）

◎友達の衣類で遊興　兼二浦三菱製鐵所東六號舍宅十號宮川兵庫縣三原郡市村內二七〇職工驛井一郎（二八）南陽郡伯田町二六四江原武杏（二二）の兩人は共謀して友達の衣類を竊取し之を入質して兼二浦遊廓に於て悉く消費したることを發覺して捕はる（兼二浦）

◎病を苦にして縊死　鎭南浦三和町一三五大分縣下毛郡三穗村字北原生れ仲仕吉田惣一（……）は自宅裏の小屋の梁に麻繩を掛けて縊死し居たるが其原因は腦病及び眼病の爲め悲觀したるものならんといふ

❖奧の氣分❖

近著の西伯利亞新聞に次の如き俗謠が出てゐたから轉載して見た

（一）夏草や兵どもの夢の跡、沙河を前にすればアノ奉天府、ヨイショ歌きせぬ恨みはヨ、苦しい中に掴く日の御旗

（二）忍ばゝ昔は旅順で血を流した遼陽迄の沙漠を眺めつゝ、駒を止めてヨ、旅の良夫がヨ、胸に又た偲ぶや舊日本ヨ

（三）シベリアで一番寒いのイルクーツク、夏はアンカラ河をアノ遡上り、ヨイショ、冬は湖上のアノ船遊びヨ、又はスケートや橇あそび。

（四）袂ぶり唄ひながらに旅を行けば、袂の窓アリヤ連れて啼くヨイショ、袂は穴の樣にアリヤ下るほどにヨ、野も汗漬み方が近くなる。

（五）流澌の虎伏す野山踏み分けて、賊、ひとアリヤ國の爲めヨ、旅々探し路でたヨ、アノ獲物ヨ、につこと笑うて眼に涙。

永登浦

▲窯業會社　永登浦及び素沙の有志者發起となり永登浦に土管並に煉瓦の製造販賣を目的とする株式會社設立に就き久しき以前より寄々協議中なりしが愈々創立する事に決定し近く假事務所を設け事務の取扱を開始する由なるが資本金五十萬圓にして第一回に於て二分五厘の十二萬五千圓拂込みを爲し事業に著手する由因に一萬株（一株五十圓）の內八千株は發起者側に於て引受け殘り二千株を一般より募集する由▲新年俳句會　永登浦分監長佐由山吉氏は十五日夜同好者十餘名を招き官舍に於て新年俳句會を催し……

釜山から（二）
無い袖は振れぬ

釜山鐵道の沿線各驛には申し合せた樣に貨物が山と積まれてある、出來する處米や豆が主らしい、其が野積である、蓆一枚の掩ひもして無い處が多い、幸ひ雨がないから好いとして、若し大雨が降つたら何うする、大丈夫だと、何が大丈夫だ、現に大邱驛などでは、去る八日夕刻の雨の爲めに、一生懸命掩ひをしたけれど、玄米六千餘俵を濡らして居るではないか、勿體無い話じや、捕者は勿論野積にした者を惡くは云はぬ、要するに輸送力が不足から來た事だからば輸送力の不足が惡い、不足々々で何時迄引つ張れば不足を補足に代へる事が出來る、損は同じだ、野積みで晒すも損、輸送不足も輸送者の方が損だ、而も損にも大と小とある、輸送者の直接損は小で野積者の直接損は大だ、大を殺して小を取る、此樣な理窟はない、若し其う云ふ理窟があるなら捕者には議論がある、何に議論があつても無い袖は振れぬこと、袖が無ければ出來る樣に何故早く手を打たなかつたと云ふものぜぬのだ、此樣な大きな世帶を持ちながら、實際野積者の苦痛は大きいよ、見給へ西貢米の輸出制限令が解除されたつて、政府は鬼の首でも取つた樣に吹聽して居るか、禁令解除になつても、實際は今まで通で、オイ其と米が邊に飛び込んで來はせないよ、其から一日も早く此積米を吐かせて、內地へ送つてやり給へ、袖が無いつて、格構に妙に手を振つて居るのは餘り氣の利いた話じやないよ、第一見つともないじやないか、何にもならぬのだ、現在一日に千六百噸づゝは輸送して居るが、何分出廻りが其れ以上だから此始末だと、其れは捕者も知つて居る、一日千六百噸が今日輸送の頂點とすれば、何故早く其れ以上の要意をせなかつた、朝鮮の農業は年と共にドン〳〵發展しつゝある事は知つて居るのだらう、知つて居れば平生からの要意が必要だ、其の要意が足りなかつたと申せば、捕者も同情する、輸送者が豫想以上の出廻りに驚いて居るのは、取りも直さず農產の進步發展を意味するものだ、結構々々、兎に角捕者が獨り憤慨した處で仕樣がない、輸送力の補充が、之れがうごんこを捏ねて、手先でも今日唯今こしらへてやるが其うは行かぬ、一體物事と云ふものは萬事思ふ樣には行かぬものじや、其れが浮世じやと心得さつしやい、其れなら腹も立たぬものだ。

獵信（平壤）

平壤獵界の消息は一向捗々しいものを耳にしない▲何でも林長太郞君と柴田謙三君が四五日間に雉の十四五羽を獲たとか云ふことであるが其後餘り手柄話も聞かぬ▲鹿で雉子狗連の手近である獵地は黃海道瑞興郡が第一番大同江上流が此に次いでゐるさうな▲兎に角今冬は鶉は比較的多かつたさうだが雁は什ム加減か例年よりは非常に少かつた▲それが爲め相場なかも突飛な値を表してゐたのも無理からぬこと▲獵專門家の活動舞臺は成川郡か谷山郡か遂安郡か孟山郡か、大狗に盛んであるうなが平壤の大狗連も一つ猛獸狩の組織として該地方に遠征を試み新春に際しての大功名をやつては什麼うか

社告

角田朝治

右者今回本社大田支局長として赴任致候に付廣告候也

大正八年一月十六日

京城日報社

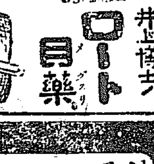
乳の出る妙藥發見!!

產後乳出なく又は不足な程乳の出ない方は何の甲斐もない況して我小供を育てる母親の身にとつては尚一層可愛想です、牛乳とミルク等で育てるは澤山なお金が入り其の上手數が非常で大抵でありません又寒い時の加減は思ひもよらぬ困難にて殊に赤兒の胃と腸を惡くしてだん〳〵瘦せ細る一方です今度不思議によく出る乳の藥（乳の母）を發見しました乳の爲に難儀して居らるゝ方は一時も早く（ハガキ）にて左記申込まれ誰にも解る乳の母の委しい說明書を無代にて送る
大阪市東區……　東京市下谷區……
乳の母發行所　いづみ屋藥房

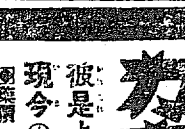
本場名仙　一反の只五圓三十錢

天下の大破天荒の投資と品質本位とを以て店則とし過去七年間繼續して大なる評判を取つた東京市日本橋區石町一丁目吳服問屋關谷商店は今回場外の掘出し物實用本場名仙七百五十反限りの處分投を始めたが……特別上製一反タッタ五圓三十錢……變つた大安賣……且同店は七週年記念としてメッキでなく正金の代用に適ふ不思議の十八金色指環を一反の注文每に一個宛無代進呈をなす由因に希望の方はハガキにて男女別年齡を記し申込めば柄合見切に撰び送料實費にて送るとの事

目ニ見ヘテズン〳〵トキク　シマズ　イタマヌ
井上博士　ロート目藥



不潔な布や指頭で擦るのは目の爲め惡いから　ロート目藥は消毒した布と下圖の點眼器を添へてある　●全國各藥店にあり　本舖　東京・大阪　山田安民藥房



金牌受領

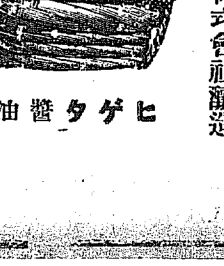
登錄商標　男女頭髮用　本椿ポマード
毛を黑く長くつやを出し　赤毛くせ毛ぬけ毛折毛等を防ぐ事妙
本舖　大阪西橫堀　三宅堂

資本金壹千萬圓
頭取　安田善三郎
株式會社百三十銀行京城支店
京城本町壹丁目　電話五八番・一一九番　振替貯金京城一三四番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候　爲換取組先ハ內地各方面朝鮮樞要の地に有

かぜ　ねつに
おもしろいほど百白い程きく
荒川のカギヤピリン
彼是と手遲せぬ樣直服用あれ
現今の流行かぜには願る妙
丸劑と散劑とあり◇小兒には又專用の小兒用カギヤピリンあり◇にせもの注意
●藥價●十錢●廿錢●卅錢●五十錢●壹圓
本舖　名古屋京町　藥品問屋　荒川長太郎
全國到る處の藥店に販賣す

內外科　小兒科　花柳病　高井醫院
京城本町二丁目（壽館前）　電話二一六番
院長　正六位勳四等功五級　高井貞治
副院長　醫學士　松崎正彦
診察自午前九時至午後九時　日曜祭日正午迄

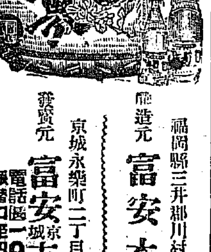
宮內省御用達　ヒゲタ醬油



千葉縣銚子港　銚子醬油株式會社釀造
代理店　京城明治町二丁目　櫻正宗發賣元　山邑京城支店　電話長八四九番・一四五四番　振替貯金口座京城七五番

產科婦人科　二宮醫院
京城壽町　電話一一〇一番
醫學士　二宮亮吉

優等清酒



福岡縣三井郡川村山　釀造元　富安本店
京城永樂町二丁目　發賣元　富安京城支店
御用命あれ

內科　胃腸病　石川醫院
京城本町一丁目　電話一二七九番
診察夜九時迄

氣象報（十六日午前六時）
低氣壓……
高氣壓……朝鮮……

(明治三十九年九月十日 第三種郵便物認可)

商況

東京正午中値

十五日正午中値

東株	二〇三、〇〇
同新株	一八〇、〇〇
朝鮮銀行	六〇、〇〇
同新	一五三、〇〇
南滿鐵道	一一六、〇〇
第一新株	七七、五〇
第二新株	[illegible]
南滿製糖	[illegible]
朝鮮製糖	[illegible]
滿洲製粉	[illegible]
京城電氣	五七、〇〇
同新	一八、〇〇
朝鮮瓦斯	二四、〇〇
郵船	三三、〇〇
同新	一一、〇〇
鐘紡	一一、〇〇
同新	九四、〇〇
郵船	九六、〇〇
東拓	二五四、〇〇
日清汽船	二三七、〇〇
寶田石油	八一、〇〇

東京期米特電

十一日前場

當限	三十九圓十五錢
中限	三十八圓三十四錢
先限	三十八圓十九錢

大阪株式特電

十六日前場

宇治川水	一〇〇
大阪鐵	[illegible]
東洋紡績	[illegible]
合同紡績	[illegible]
大日本紡	[illegible]
同上新株	[illegible]
東洋製鐵	[illegible]
大阪商船	[illegible]
同上新株	[illegible]
郵船株	[illegible]
同上新株	[illegible]
堂島米穀	[illegible]
東京株式	[illegible]
大阪株式	[illegible]
同新株	[illegible]
日糖	[illegible]

大阪三品特電

十六日前場

一月限	[illegible]
二月限	[illegible]
三月限	[illegible]
四月限	[illegible]
五月限	[illegible]
六月限	三一六、七〇

大阪期米特電

十六日前場 寄附

當限	三十八圓二十九錢	
中限	三十八圓八十六錢	
寄付	三十八圓十九錢	
高値	三十七圓九十四錢	
安値	三十七圓九十四錢	
止め	[illegible]	

兵庫期米特電

十六日前場

寄付	三十八圓二十九錢
高値	三十八圓二十九錢
安値	三十八圓十六錢
止め	三十八圓二十二錢

下關期米特電

十六日前場 買氣旺盛なるも値頃買に氣弛む

寄附	三六、六〇
高値	三六、六三
安値	三六、五三
止め	三六、五三

雜報

●板硝子先高構

板硝子は海外輸出の前約注文あると歐洲方面の主産地とせらるゝ白耳義は平和後と雖之が製産復舊が容易ならず、雜きのみならず歐洲方面は戰場區域の爲め損壞等物の復舊等にて戰後の本品需要從々增大するを以て本邦製品の海外輸出は平和後に好調なるを期待せらるゝ

後も好調ならん

製造會社は前途の好況を構へて强氣の高唱へ本年に入りて一圓方の値上を見たり

値上一圓方

又最近に至りて當地は先後入荷の順調を得て昨今在荷潤澤なるを以て今日の處は先づ二十六七圓つき昨年末の値段に比し何分か値上げ前記の如き状勢に連れ居れる

下關相場

▲朝鮮米も强人氣 別段買氣進まず又强も此後白米二百叺の輸入に過ぎざるのみならず兎角産地安からずして不引合なる折柄なるに至りたる所各米主の意向に見るべき商内は行はれず目下の如き買入四十二圓五十錢の買入四十二圓を唱へ居る也。別段の出來値は左の如し

▲大豆は矢張手堅し 其後元山物千七百叺鎭南浦產二百叺群山物八百三十六叺ボアン物三百叺が矢張中には先の約定物の加はり居ると既報の如き事情の下に賣先一段の出廻りを見越し居る荷主の買腰强く依り矢張市況は手堅く深川物は二百叺四十一圓四十錢に元山物の上物は二百叺四十一圓四十錢に平合行はれたり

▲小豆は强硬 前報後北海產二百三十俵の廻着に過ぎざるのみならず一般產地高不引合の筋に各手持筋も意强き氣構に依り相場は入氣强硬を極め居れり

▲朝鮮一等白米	四十二圓七十錢	
▲同	四十一圓八十錢	
▲同	當用	四十二圓九十錢
▲元	小豆	二十三圓五十錢
▲朝鮮黑豆上	當用	二十五圓
▲滿洲小豆		二十八圓八十錢
▲深川大豆		二十一圓三十錢
▲元山大豆		二十一圓四十錢

仁川期米

▲十六日前場（自然安保合）

第一節 各地入電末著なるも前日の氣崩を移して人氣强硬に立會は當限不申中三十三圓三十錢先三十四圓五十八錢と一錢高に始まり六十錢と伸し高値に付新規の買物に五十六錢と押したるも押目は買物現はれ再び六十圓と返し五十八九錢を採付けたり

第二節 當限不申中三十三錢先五十八錢より四十三錢と崩れしも安値は買物受へ八錢と返し七十錢引に止まり

第三節 當限不申中三十錢より二十八錢先五十二錢より四十九錢と押し五十錢と返し買物薄に引け

第四節 當限不申中二十八錢先四十七錢より八錢と保合ひ

第五節 當限不申中二十九錢先四十八錢より九錢にて引け

結局 氣迷

㋑ 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 今村覺次郎 電話三六番 [illegible]

仁川正米

最近入荷は乏しく、雜穀米等は前日と大差なく正米は兎角物筋の買進みにて堅調

生魚市場

京城日丸市場 [illegible]

釜山市場

十六日

各地商況

◎大邱米況 十五日

市場雜觀

▲阪神外と格付

仁川米豆取引所

十六日の三月限

寄付	三十四圓六十
前場	三十四圓五十八
止め	[illegible]

北濱たより

錯綜先限と當中に對する俵括に劑高制

三十八圓丁度の安電に氣勢挫折

大阪三節

硬軟共に睨合に

青物小賣値

本年に入り賣行き頗る不振にて[illegible]

はれいそう	四〇
みづな	三五
はくさい	五五
だいこん	四〇
わけぎ	五五
しんぎく	二〇〇
きうり	二〇〇
くわい	二〇〇
こいも	八〇
もやし	四〇
しようが	三〇〇
にんじん	五〇
だいだい	四〇
くわい	二五〇

田中金兵衛商店 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長七五一番

白米標準値

三十九圓五十錢

白米小賣値

四十錢 三十九錢五厘

六助 卅六番角力

毛谷村六助 一百十六席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

山中鹿之助は神月城に籠つて毛利元就と戰つたが、遂に敗れて尼子を立退き、羽柴筑前守秀吉に從ひまして尼子再興を圖つて居りましたが、幸ひ龜井新十郎に出會ひ、意中を明して遂に兄弟の約を結び、我妹を新十郎の妻にいたしまして、夫に此の龜井を秀吉公に推擧いたし、新十郎は秀吉公に仕へることになつた。然るに羽柴筑前守秀吉は天正五年織田信長公の命を受けて中國の毛利を攻んと播州路へ向いたしました。播州の鹿野と云ふ處へ砦を構へて龜井新十郎に守らせる。猶神月城を攻取つて山中鹿之助幸盛が尼子勝久を守護して再び此へ楯籠る、斯くして秀吉は播州三木、八幡等へ攻かゝりまする。毛利元就も之に對して吉川駿河守元春を大將として三千の兵を以て攻まゐりました。山中鹿之助は防戰しく、秀吉の救ひを待つて居りましたが、一向にその援けが無い。非常に苦戰を致しましたが、新十郎は之を聞いて恐く歎いたが、いたし方はございません、猶中國攻のお話は大略いたしますが、天正十年六月二日京都本能寺に於て信長公は明智に弑され、是が爲に羽柴秀吉は播州路より備中まで斬込んで毛利三家を討たんと思ふ處へ、此の變事が起りました故に秀吉は毛利と和議をして上方へ引返して信長公の吊ひ合戰、山崎に於て明智光秀と戰ひをいたしまして、それより織田の家督を定めて遂に此を討つて信長公の無念を晴らし、柴田勝家を滅し北畠信雄を追退け天正十三年の四月遂に關白職となつて天下一統をいたしましたのは皆人の知る處、時に龜井新十郎は播州鹿野へ改めて一城を築き三萬石を給はつて龜井新十郎重知と云つて諸侯の列に加はりました。一枝流の鎗術を以て指南役仰付られました、後石州津和野に於て四萬八千石を領して德川家へ忠節を致したのは此のお方でございます。偖此新十郎が愈六助と相撲を取ることになりましたが、槍を執つては天下の名人であるが、角力は又別段遂に六助の爲に敗れを取りました、此の次に出ましたのが廿三番目でございまして、小西攝津守行長の家臣藝塚忠左衛門で、

のまするが、此人は讚岐國仲多度郡の琴平に生れ、幼年の頃に父は沒して伯父に育てられたのでございますが、戰國の慣らひ伯父宿彌が飛驒の守は國卿府尾の城主生駒宮內大輔に討たれまして、忠左衛門は伯父の敵を討たんと思ひしが先方は一城の主加ふるに常には大勢の家來が附いて居る、乃で忠左衛門は頭を剃つて法師となつて名を宗鑑と稱し琵琶の師匠と致して城下へ參り卯根尾の城下に入り琵琶を彈じて居りますると、琵琶は美しく琵琶は巧みに裝ひ宮內大輔の許へ出入の度に招かれます、思はぬ金儲け、然し是が目的でない何うかして城內へ入り込みたいと苦心して居ります、スルと生駒宮內大輔は蛙の聲を好みますので、領分の百姓に申付け數多の蛙を取寄せて庭へ大きな池を掘り、其蛙を放つて喜んで居る、最も蛙といふものは風流なもので、手をついて唄を申上げる蛙かな、など云つて俳人は愛しますが、除り聰い好いものでは無い、ガア／＼啼いて騷しくて仕樣が無い、イヤ家來は參つて酒宴を催し其の蛙の聲を聞いて喜んで居る、最も蛙といふものは風流なもので

家來は困る。宮內大輔が蛙ケ池へ參つて酒宴を催し、蛙の聲を聞いて喜んで居りましたが、牛『コレよ、近頃城下に琵琶法師が參つて居るさうじやが、大層巧妙だ』左樣にございます、牛『其の琵琶法師を招いて、一曲所望いたし』と云ふことでございます

書畫用 紙畫絹

京染呉服商 たまや出張店 京城明治町二 電話一一九六

四方八方記

來天にて 老生

▲新年宴會は十一日午後六時から……と云ふ各部合同の宴會は七十餘名の大會で實際は七時頃から▲金谷樓で開かれた其は例の大席間で催された▲これは何も必要條件ではない、却つて宴の中央やら先づ室內は色電氣で目も眩むばかり▲滿開の花が數株▲是れでも二分の春の氣分が淡い甘い香の情趣が身に迫るを覺えさせたが▲これは何も必要條件ではないが其の時一同席定まるや橋本▲[illegible]

皮膚科專門 外科 京城太平通二丁目 扇田醫院 電話一二五八番

牛乳 京城東四軒町 御用 岡野牧場 電話一〇六九番 病院用

琵琶法師▲指へ一曲所望いたしますと云ふことでございます

一月十七日

(金曜日)(舊)十二月十六日 ▲六白 ▲己亥 ▲先負 ▲ちう日 ▲[illegible]

▼六白▲ちつとし暮すべき日也
▼七赤▲親みのある何んとなく人なつかしき日なり、よろづ吉
▼八白▲花やかなる美事なる日なり
▼九紫▲何うかすると手違ある日
▼一白▲花も實もある結構な日なり
▼二黑▲繼りの好き日にて和合の事或は意外の喜び事あるやも知れず
▼三碧▲決して氣負を入れる、如き事を起す事勿れ
▼四綠▲決して短氣を起す事勿れ
▼五黃▲陰德あれば陽報必ず伴なふべき日なり但し職に敗れを被る

の挨拶の一端を摘發するのが目的だから早速ながら……▲砂糖は人類生棲の上に一日もなくてはならぬ……一寸辛當には左樣さまではけれぬが……寂質だ相な▲第一砂糖を食はぬ人間は勇氣が出ぬも持久的にして反撥の勇氣も努力に乏しいのである

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials after thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies for regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism. The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.

Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and moreover, easy to be absorbed and assimilated. Price ¥ 1.70

病者の食慾を催進して營養を佳良ならしめ治病の完壁を期し回春の喜を迎へしむべき

○ミツワ規那鐵葡萄酒
(みつわ・きなてつぶどうしゆ)

定價 壹壜 金壹圓七拾錢 內地以外は關稅運賃を加ふ

香味色佳良滋養力偉大 健胃補血興奮作用卓絕

本品は山梨縣宮崎葡萄酒釀造所謹製の天然葡萄酒を基礎とし、純良有効なる規那並に鐵を持殊の操作を以て配合し、周到なる用意の下に精製せるものなるが故に容易は變敗する憂ひなく規那、鐵及び葡萄酒の健胃、補血、興奮、强壯等總ての効力を遺憾なく發揮し天然の佳香美味を具へ、食慾缺乏、消化不良、慢性の疲勞並に下痢、貧血、萎黃病、貧血より起る神經疾患、殊に神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、產後並に病後の衰弱一般の虛弱等に際して適用すべき無比の滋養的飲料なり

▽如斯人は滋養料ミツワ規那鐵葡萄酒を用ふべし

一、食餌の進まぬ人
一、榮養の衰へた病人
一、元氣の無い病人
一、貧血して居る病人
一、是と云ふ病は無くても何となく惡い人
一、惡阻(つはり)の人
一、產後の恢復を圖り度い人
一、病後の衰弱を早く回復したい人

一、色蒼く病瘦せ衰へた人
一、腺病質の人
一、腺病の人
一、頭痛して居る人
一、腎臟を壞して居る人
一、下痢の永く續いて居る人
一、婦人病及ご血液の病に罹つて居る人

一、肺結核や肋膜炎、其の他結核性の病などに永く苦しんで居る人
一、ヒステリー性の神經病で苦しんで居る人
一、ヒポコンデリー性の心配病に惱されて居る人

MITSUWA GINSENG WINE.

Mitsuwa Ginsing Wine, being rich in the nutritive properties which build up vitality and strength is very delightful to taste and also remarkably wholesome and nourishing to the weak and sick. By means of the exclusive method the fresh juice of the grape and the efficacious Ginseng are mixed in a well-balanced combination. Then it is assimilated completely and transformed, with the least possible tax on digestion, into the elements of active capacity and power. Mitsuwa Ginseng Wine is especially effective to be applied in the following cases: Energy decline and low spirits, Nervous debility, Innutrition before and after delivery, Night spoil, Poor appetite, Indigestion, Poverty of Blood, Hysteria. Price ¥ 1.80

健者の物質代謝を旺盛ならしめ疲勞を除き身體の强壯を圖り尙新活力を賦與し得べき

○ミツワ人參葡萄酒
(みつわ・にんじんぶどうしゆ)

定價 壹壜 金壹圓八拾錢 內地以外は關稅運賃を加ふ

風味高潔滋補適當 元氣增進興奮作用優秀

本品は科學的研究を經て、効力卓絕なりと認められたる人參を、周密の操作に依り芳醇無比の葡萄酒に配合したるものにして、其の色は紫紅にして晶瑩、其の香は芬芳にして爽快、其の味は濃厚にして甘美、能く何人の嗜好にも順應し、元氣を增進せしめ、精神並に筋骨の疲勞を除き、營養の佳良と强壯とを致し、尙健者に新活力を賦與する上に於て他の物を以て代ふべからざる効果あり、本品は隨時隨處飲用すべく、一度沸騰したる水或は諸種の清涼飲料を以て稀釋するも可なり。

▽如斯人は强壯料ミツワ人參葡萄酒を用ふべし

一、元氣を盛んにしたい人
一、精神を爽快にしたい人
一、膽力を强くしたい人
一、血色を良くしたい人
一、元氣良く活動したい人
一、延年長壽を希ふ人
一、精神や筋骨の疲勞を恢復したい人
一、不快な感覺を忘れたい人

一、食事を進ませたい人
一、消化を良くしたい人
一、營養を良くしたい人
一、精力が減り元氣の無い人
一、勉强又は勞働して疲れた人
一、生來虛弱な人
一、身體の衰へた人
一、貧血して居る人
一、顏色蒼褪め艷の無い人

一、手足や腰腹が冷えて困る人
一、つかれ易い人
一、腹の中の疾氣に惱る人
一、悲しい事も無いのに泣く人
一、悲觀し易くて厭世的になる人
一、きたない人
一、物事を苦にして氣分を害する人
一、些細な事を氣に病む人
一、除癖で精神を病む人
一、紅潮めて[illegible]に病んで居る人

日本郵船出帆

▲大連、長崎、靑島行 酒田丸 一月二十日 [illegible]
參河丸 一月廿 日正午出帆
[illegible]

朝鮮郵船出帆

大阪朝鮮線 [illegible]

▲敦賀行 淸津經由 平安丸 一月 日 元山發
平壤丸 一月 日 元山發
▲浦汐行 [illegible]
忠淸丸 一月十五日 釜山發
成鏡丸 一月十八日 元山發
▲元山雄基線 穩城丸 一月十八日 元山發
▲大阪行 慶尙丸 一月 日 元山發
▲關門行 [illegible] 一月廿六日 元山發
▲全羅線 [illegible]
▲西鮮線 [illegible] 公州丸 一月廿六日 木浦發
▲濟州島行 [illegible]
▲木浦群山線 [illegible]
▲多島海行 木浦發多島海各島行
▲海州行 仁川發 [illegible] 一月廿一日 仁川發

大阪商船出帆

(仁川出帆)
群山、大阪行 安東丸 一月廿一日 正午出帆
×木浦、大阪行 信濃川丸 一月二十日 正午出帆
(元山出帆)
浦汐行 安平丸 一月十九日後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 安平丸 一月廿五日後九時出帆
(大連出帆)
上海、基隆、打狗行 基隆丸 一月廿一日前六時出帆
天津北丸 一月十七日後六時出帆

內地各港出帆主要航路

大阪商船株式會社 [illegible]

本社京城南大門通 電話長一九五二

其他各寄港地ニ荷客取扱店

京城日報 第五版

……[illegible]の知る可らず然れども生産業者に[illegible]事情も存する事を以て[illegible]し何等かの[illegible]對する保護は一方に於て却つて消[illegible]施設を害すとするも今議會に關係[illegible]

[illegible]國大藏省證券の件に關し米國[illegible]はれたりこの趣旨の接收狀を送ら[illegible]政府の内希望ありたるにより小官れ以て[illegible]グラッス氏は日本政[illegible]ゆるが如く政府は今回在米正貨を[illegible]戰時に於ける國際的貸借決濟の關係[illegible]

[illegible]二分乃至三分二厘五毛の利廻りに加するを勿論にして當局の方針[illegible]達するに過ぎずして運用上極めて[illegible]しては其期限は前一箇年以内の[illegible]

京城日報

俗論を排す(八) 所謂思想鼓吹(上)

吾人は頑陋ぐ愚にして、一も二もなく新なる思想を拒否せんとする、極端の守舊主義を憎むと共に、苟くも新奇のものとしいへば、目も鼻もなく振ひつかんとする、所謂新物食ひの、輕浮なる心情をも併せて排撃す。何となれば甲は自ら甘じて進歩伸展の路を遮断するもの、乙は前途の泰否、さては國情の適不適をも顧みず、盲目滅法に流行を追はんとするものにして、其の社稷民人を誤るの結果は同一なるを以てなり。凡そ一國進展の順路は、外來の文物を選擇採用して、其の固有の文明を助長するに在ることは、今更架説を俟すに及ばざる所なるも、其の採擇には十分の咀嚼と、十分の消化とを必要とし、直譯的の生呑は大禁物なり。殊に今日の如き思想界に激動ある場合に當りては、最も愼重細密の用意を要す。ベーコンいへることあり、凡そ一國に於いて、其の舊來の迷信を變革せんと焦慮する場合には、舊に勝りて新しき迷信の存するを見ると。今日獨逸露西亞等に於ける社會主義的運動は、正に之を事實に證するものにあらずや。我邦の所謂新思想を鼓吹するもの、此の哲人の言に顧みる所なかるべからず。吾人又之を聞く、米國の巨人故グランド將軍の來朝するや、明治天皇に謁見し、進言すらく、各國興亡の跡を案ずるに凡そ國家の危險は、外來の文物に因り、國民固有の思想を變化する秋に在り、貴國の現在、歐米文物の流入漸く盛んならんとす、宜しく聖慮を勞したまはざるべからずと。達人の見る所は符節を合するが如し、輕浮者果して如何の感をか爲す。

新思想の採擇は前にいふが如く最も必要なり、從つて世の先覺たるものが之が研究を怠るべからざることは勿論なり。然しながら咀嚼消化の作用を缺き、生呑のまゝに吐き出し、無批判的に宣傳し、以て國民固陋の思想に大激動を與ふるが如きは、實に危險千萬なる所業なりとす。目下我邦に新思想(新思想といふの可笑しきも彼等はしかく呼べり)として盛んに流行する民本主義といふものの如き又之を宣傳するもの、態度は、殆ど此の種類に屬するものにあらざるなきを得んや。民本主義とはいふまでもなくデモクラシーの譯語にして、明治年間には之れを民主主義と唱へたりき。然り民主の方が勿論適譯にして、其の意は故米國大統領リンカーンが「人民の人民による人民のための政治」と喝破せるものに外ならず(ピープルといふ用語に、特に注意せよ)近時の學者間に種々の定義を附するものあるも、畢竟此の意義を演繹し、若くは言語を變更したるものにして、別に新しき意義を發見せることなし。方今我邦に於て之れを民本主義と呼ぶは、民主々義といふことの到底國體と相容れざるを恐れ、且つ共和政治を唱ふるものなりとの嫌疑を避けんがために、在來有合せの熟語を借用したるに過ぎず。是れ或は用語の一進化なりといはゞいへ、其の内容實質に何等の變化なき以上は、區々たる名目の變更は毫も價値を認むるに足らず、しかのみならず之がために却つて種々の思想上の混雑を起し、人を迷誤に陷るゝこと鮮からず。要するに名目の變更は一種の卑怯手段にして、デモクラシー其ものに對しても亦忠實なるものと[illegible]いふべからず。何ぞ初より正々堂々として『我は民主主義を主張す』といふの男らしきに如かんや。且つ民主々義の主張は、共和政體の欲求に達するは必然の歸趨にして、之れを曖昧模糊に了せんとするも無用の勞力なり。成る程英國の如き、又白耳義の如き、世襲の君主を戴くの邦にしてデモクラシーたるものなきにあらずと雖も、是等の邦々の君主は所謂永久の大統領(其實際は米國大統領よりも權力を有せず)にして、吾人の稱して眞正の君主國と爲すものにあらず。眞正の君主國は全世界中、唯我日本帝國の一あるのみ。故に我邦に於て彼等が所謂民本主義を徹底的に實行せんと欲せば、我國體を破壞し、我憲法を改易して、英國的若くは白耳義的と爲さゞるべからず。彼等にして萬一之を恐るとせば、初めより民本主義などを唱へざるに如かず。既に之れを唱へ且つ之が實行を促しながら、其結果の來るを恐るゝが如き辻褄の合はざることは、婦女子としも猶之を恥づべし、況んや有髯男兒に於てをや。

五色饅頭

剣花坊

赤は太陽の色で有ると同時に、火の色、血の色で有る、強烈、熱誠を象徴すると同時に、危險、淫蕩を象徴する。

黄は黄金の色で有ると同時に、菜の色、土の色で有る、日本の酒菊の花、道袍といふ物は貴とい人の衣服で有つた。

青は空の色、水の色であると同時に死人の色、芋虫の色。

白は雪の色、白粉の色、米の色プラチナの色、清淨潔白をあらはしもするが、不淨の血、不純酒の色にもなる。

黒は夜の色、鴉の色、喪の色、しかしながら墨の色、禮服の色、要するに表があれば、裏がある、長所があれば、短所がある、この世相をゴタ〳〵にとり交ぜて看察して、思ひの儘に、筆に隨つて書かうと思ふ。

しかし味が無ければならぬ、不味いかも知れないが、自分は甘しく食べて貰ふつもり、そこで題を五色饅頭とした。

財界の新舊人(五)

鐵道の花形(下)
安藤運輸課長と川江工務課長

川江秀雄君

安藤君は當世風の才人ではない、君は又所謂敏腕家と云ふ柄でもない從つて蝟集し來る事務に向つて快刀亂麻を斷つ的の裁決振りや小氣味の好い切れ味を見するヤリ手ではないやうだ、然しながらその體軀の堂々たる如く、人物もコセつかず、ドコとなく包容力があり、大きい所がある、話してゐる態度にも、音聲にも、その眼にも自然に人を惹き附ける所がある、その人格に就ても多くの批難を聞かぬ、何れかと云へば徳の勝つた性格である、相當忙はしい運輸事務を執りつゝ、常時可なりの餘裕を身邊に有するのは、平素の用意が窺はれる必ずしも謡曲に達し又謡に凝り出したからではあるまい

▲君の主宰せる運輸業務は鮮鐵に於ける中心をなしてゐる、乃ち内部の工務工場に對して主動的たり外部に向つては殆んど一手に働らいてゐる、旁非常に忙はしい、乃で君は此事の多くを部下に委ねて自らは要な點だけを視る事にしてゐるやうだ、そこに巧みに人の長所を働かしむるに遺憾ない手腕を見る、尤もどうかすると夜行の貨物列車に乗り込んで、驛務員の夜勤狀態を監察し、早速お膝下の龍山驛助役某の不覺の眠りを取り押へたと云ふやうな話しもあるにはある、が先づ運輸課長としては多數部下の心服を受くる資質を具へた人のやうだ、曾て山東鐵道の勤任部長として、招聘の交渉も受けたらしいけれど、斷つたとの噂がある、先の知れぬ山鐵の部長よりも十數年以來、從つて來た鮮鐵運輸課長職の方が儲でもあり良いのであらう

▲工務課長の川江君は人格の高い徳望家である、君は又有名なクリスチャンとして知られてゐる、唯君は技術家であるためか、多く社交場裡に姿を現はさず、並に龍山や元山の建設事務所長として昨年工務課長の椅子に就くまで、どちらかと云へば地方的の業務に關はりつたため、その徳性に富める優秀な人格も汎く知られてゐないやうである

▲君は朝鮮には珍らしい北海道石狩の國を原籍としてゐる、亡くなつた君の前夫人は佐藤昌介博士の令嬢であつた、二十八年の札幌農學校工學部の出身、技師としては京城に於ける先進である、漆黒の髭を手際よく分け、風采の手入れを怠らぬ人だけ、一見若く見ゆるが、明治三年生れだから早くも初老になつた譯だ、學窓を拔群の成績を以て出づるや、直ちに土木工學研究のため獨逸國に留學、後ち米各國を歴巡して三十三年の九月に歸朝してゐる、乃ち在外六年の久しきに亘つた譯、可なり古いしても京城に於ける外國通として指折の方であらう

▲歸朝後母校の教授に出仕し、三十五年には鐵道廳技師となり、四十四年龍山建設事務所長として渡鮮してゐる、鐵道技師としての手腕技倆は或は君の部下たる山田中野の兩君に一目を讓らねばならぬかも知れぬ、然し責任を重んじ温厚に富み言行苟くもせず、批議すべき何の道樂もなく、その衆望を負ふべき工務課長の資格に至つては滿鐵京管局の技師數十名中、君の右に出づるものは恐らくあるまい又之れを親分肌の前々工務課長故岡村君又聊か焦燥性を有した前工務課長稻垣君に比するも遜色はない、土方の大元締として實に珍らしい人物である

本紙定價 壹部參錢 壹箇月七十五錢 ▲郵税[illegible]
廣告料金 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 [illegible]

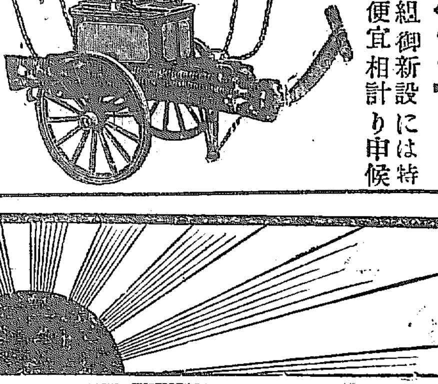
●高尚なる新職業●立身出世の近道●
精神療法講義録
古屋鐵石述
講義録六巻完合輯四冊 [illegible]

成り 保證 開業 隨意 ●教授科目●
通信教授 四ヶ月卒業
心靈術 氣合術 暗示術 催眠術 哲理療法 心理療法 信仰療法 神仙術 [illegible]
人身自由術 [illegible]
東京芝區[illegible] 精神研究會

實用 養蠶業講義録
交配種編 全五冊 三ヶ月卒業 會費 [illegible]
養蠶家必攜機關たる本會は西ケ原の寶庫を公開し遺算の根絶を期す
[illegible]
東京日比谷有樂町一 西ケ原蠶業普及會

商品月賦販賣開始
嶄新有益趣味多く中途契約金全額貸附の特典を設けたる好機關
京城府[illegible]町百六番地
報國公債株式會社朝鮮支部
電話長 振替口座京城[illegible]
◎商品月賦 ◎債券月賦 販賣
◎外務社員招聘
◎各地代理店主任囑托
◎固定給共月收六拾圓以上希望者履歴書送れ

ポンプ
消防組御新設には特に御便宜相計り申候



京城 熊平支店
振替京城[illegible] 電話長[illegible]

鐵道拂下品販賣
冬羅紗洋服外套
毛皮胴着並防寒具
軍隊拂下品一式
特製品 [illegible]
和洋古衣服類各種
龍山元町二丁目
金子奥市商店
電話長一〇五番 振替口座京城三八[illegible]

日本少年
二月號
新案附録 平和ぽすた
大懸賞附 お菓子の福びき
小説 雪もよひ… / 八犬傳 見物記 / 兎狩 / 芳流閣 / 滑稽小説 虚病…
定價二十錢

少女の友
二月號
新案附録 鉢植の花
繪芝居の 順禮お鶴
口語詩 子供の王様 / 小説 好鳥 / 小説 霜の朝 / 少女小説 春ちかし… / 四谷見附で
定價二十錢

幼年の友
二月號
新案附録 電車競爭
遊戯應用 兎狩の歌
鷲尾[illegible] 魚河岸 / お伽噺 梅と鶯 / 赤い椿 / 馬と少女
懸賞繪探し 水の天神 / 造船所 / お伽噺 白犬 / 善い子悪い子 / 欄外ポンチ
定價十五錢

自動車
本校卒業生愈々不足校外生と雖も運轉手技師販賣員となり收入莫大なり校外生及校内生大募集規則送る
東京市京橋區 東京自動車學校
大阪市西區市岡町に分校あり

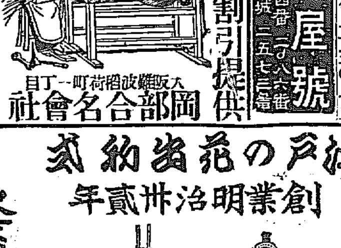
最新刊
[illegible]

世界的 ハンドサイクル
結氷のシーズン 氷上に街上に最も滑走の妙を得 安全にして輕快壯捷なり
定價五圓 送料要實費

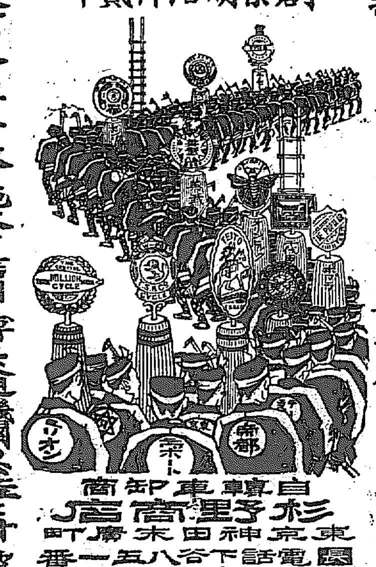
大阪屋號
京城本町一
現代世界の史的觀察
最近倫理學の進歩
電話六四番 振替京城二五七番

開店披露 五百圓割引提供

岡部式製繩機
[illegible]
大阪難波稻荷町一丁目 岡部合名會社



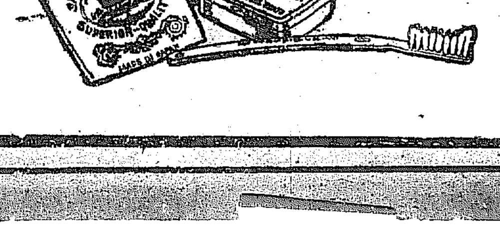
江戸の花紋出し式
創業明治卅貳年
新たに開業の御方又自轉車御營業の方ハ(登錄意匠)
東京製自轉車に依て絶大なる信用を博し交通機關の公益を計り被下度候



自轉車卸部 杉野商店
東京神田末廣町
電話下谷八五一番
振替東京四八七七番
郵便私書函神田四拾番
C.A. "DAIMILLION" TOKYO

京城日報編纂 最新書式大全
[illegible]各官廳ニ差出スベキ届書、申請書、訴狀、願書、不動産及商業ニ關スル登記、契約、通知、催告、答書ヲ始メ度量衡、特許意匠商標、實用新案、市場、水産、農林、銀行、鑛業ニ關スル書式ヲ一々關係法規ヲ摘記シタル詳細ナル樣式ト内地共通ノ書式テモ掲載シ[illegible]代書業者ハ勿論官衙官吏法律家實業家教育家其ノ他各階級ヲ通ジ何人ニテモ座右ニ一本ヲ備フルニ於テハ他人ヲ煩ハサズシテ世事一般ヲ知悉シ公私ノ事務ニ付機敏ニ處理スルコトヲ得ベキ良友必携
定價[illegible]
發行所 京城太平通一丁目 京城日報代理部
取次販賣所 △大阪屋號 △岩松堂 △日韓書房

齒磨界の最高權威たる
ライオン齒磨
年改まり 名聲彌々輝く。



ライオン齒磨本舗 株式會社 小林商店
(102)-7

◇講和會議の順序

講和會議に於て劈頭討議せらるべきは國際聯盟の組織にて先づ臨時委員を設け然る後特別委員を定め該委員に聯合委員會を中心とする最高權力機關を創設する計畫を提出するやう訓令するに至るべし次に國際財政委員を設置し軍備縮少より生ずる經費節減を基礎とし減債基金法により聯盟國間の戰時負債を償却する方法を探るべく其間講和會議は領土改訂問題解決の根本主義確定に着手すべし(東京特電)

◇兩會議形式會合

巴里來電＝十二日聯合國代表者並に軍事顧問會議を開きたるが別に軍備的協議を爲さず單なる形式的會合に過ぎざりき佛國首相クレマンソー氏は同會議を主宰せるが列席せる各國代表者は書記官と共に五十名以上に達したり(東京特電)

◇休戰延長と諸問題

聯合國最高委員會議にて獨逸商船の利用聯合國より持去られたる物資の回復、鐵道、航航機材料全部の引渡しを條件として休戰條件延長に關し決定する所ありたり(東京特電)

◇國際聯盟基礎條件

佛國々際聯盟會々頭發表

其所著電＝佛國々際聯盟會々頭レオン、ブルジョア氏が基礎件として十二日のエキスプレス紙上に發表したる要領左の如し(東京特電)

一、講和條約中に國際聯盟主義を適用するに決したる事を宣言し各國は聯盟組織の基礎條件法則を決し永久之を遵奉するを約する事
二、各國は仲裁々判軍備制限の義務を講和條約中に設定する事
三、講和條約調印後速かに國際會議を開催し法規を制定し各國提供の保障を査閲し聯盟加入を決する事
四、聯盟加入の保障として民主的政治機關、責任内閣を必要とする事
五、加盟國、不加盟國が平和を害せんとする場合には國際警察を施行する軍隊に依り制裁を加ふ可き事、先づ外交上、法律上、經濟上の手段に依り該國家に對し原料品の供給を絶ち、貿易、海陸運輸の中止、商船の抑留其他同様の手段に依りて共同法規決定を尊重せしむるに努む可き事

◇ス團勢力失墜

政府軍警察本部を奪還す

紐育來電＝紐育タイムス紙伯林通信員十二日發電に曰く數日間に亘る交戰の結果政府軍側は十二日朝遂に警察本部を奪還したり之れが爲めスパルタカス團は全く勢力を失ひリーブクネヒト及びアイヒホルン等は纔に身を以て逃れ市外の某所に潜み居れる者の如し斯て第二次革命組織の功を待へる行政官ノスケ及びラインハルトは近く戒嚴令を布く必要ありと云へり尚今回の騷擾に於て捕縛せられたるものは其財産全部を没收する旨發表せられたり警察本部の爭奪戰に於てスパルタカス團は死傷者約二百名を出せり此の死傷者中には多數の婦女を含み居れるが右は機關銃隊に加はりたるものなり而して最後の決戰は深更に及び道路より屋上、屋上より道路に向つて亂射せられ野戰病院出動し辻々に收容所を設け以て救急手當を爲し頗る多忙を極めたり情報に依れば戰爭中何等關係無き通行人の死傷せるもの本週中を通じて無數なりと(東京特電)

◇伯林の擾亂鎭定

過激派全く潰滅す

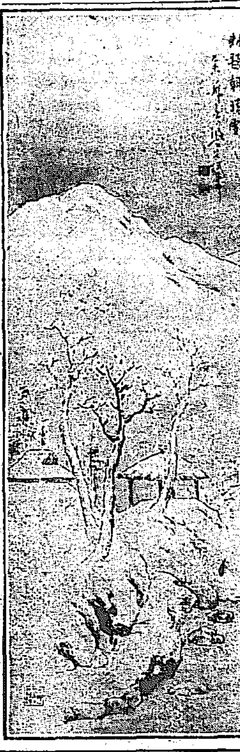
其筋著電＝十日夕エベルト政府と過激派間に締結されたる休戰條件も何等の效果なく伯林は依然市街戰繼續し此間勞働者は社會黨三派の間に妥協を斡旋せるも失敗し政府軍は猛烈なる攻撃の後新聞社を奪回し十三日に至り過激派全く失脚潰滅し伯林未曾有の大動亂も平定に歸せり、暴動開始以來伯林に於ける死者四百負傷一千名にて過激派首領は捕縛せられ大勢既に決せりと(東京特電)

◇英國造船界福音

其筋著電＝英國政府は造船業者に對し今後政府用以外の造船を爲し得る事、任意の場所にて船舶修繕を爲し得る事其他船舶解放の通牒を發せり(東京特電)

◎政府の米調策

我國現在の食糧[illegible]の移入並に外米の輸入に由つて充分之を補充し得る見込あるにも拘らず[illegible]る方策に供し居れる傾きあり從つて現内閣は外米輸入を奬勵するこ[illegible]彼の預金取附に遭遇せる銀行が其[illegible]大なる見舍を發せし行内に置き[illegible]の罪人節の手段に乘ぜられざるや[illegible]う注意を要すべし(元田政友談)



◇兩將軍へ殊勳章

米國陸軍卿は上原參謀總長、水谷大使館附武官に對し米國殊勳章を授興し兩氏が米國に非常なる功勞ありしを彰表せり(紐育電報)

◇米防波堤築造

東洋貿易處理の爲めシヤートルに經費二百三十萬弗の大防波堤築造の契約締結さる(紐育電報)

◇西伯利鐵道計畫提出

石井駐米大使は十五日國務卿代理に對し中央西伯利鐵道計畫案を提出せりと(華盛頓電報)

◇露都守備困難

某所著電に據ればペトログラードは守備稀薄となりたるより同市の乞食を驅り集め乞食大隊三大隊を組織し以て市内の秩序維持に當らしめつゝあり(東京特電)

◇コ將軍の聲價と勢力

コルチヤツク將軍は英佛最高委員到着以來益其の聲價を認められ勢力を得つゝあり又オムスクは政治の中心となれり尚コ將軍の病氣は既に全快せりと(イルクツク電)

◇兩鐵道聯國管理確實

西伯利鐵道、東清鐵道を聯合國の管理と爲すべき協約成立は確實にして駐日米國大使モーリス氏は該協約細目決定會議列席の爲め浦鹽出張を命ぜられたり(紐育電報)

◇梨本宮參内

梨本宮守正王殿下には十六日午前十時半參内 兩陛下に御對顏あらせられたり(東京特電)

◇總督岩國著

長谷川總督は十六日郷里岩國に到著兄弟姉妹の墓に展じ佛事を濟ませ十七日同地出發十九日東京著の豫定なり(東京特電)

◇田尻子辭職說

田尻東京市長は瓦斯問題の解決を機會に辭職す可しとの說あり(東京特電)

◇標準米

內地標準米に對し

大阪兵庫兩市場に於る内地標準米に對し外米は柴棍一等米を副標準米に置き兩標準米の格差を九圓とし蘭貢米は蘭貢三等上米を標準に取り格差を十四圓卅七錢とし一般の外米蘭貢米は右副標準米を標準とし品質に應じ高下を定めたり(東京特電)

◇外相下院各派代表者招待

内田外相は十六日午後六時官邸に下院各派代表者を招き晩餐會を催せり席上外相は曰く外交經過に就ては既に豫算內示會にて報告したれば別に演說を爲さず今夕は唯だ諸君と懇親を重ねしに過ぎずと(東京特電)

◇條約調査委員任命

幣原次官其他條約調査委員は十五日任命されたり(東京特電)

◇國勢調査會

臨時國勢調査會は十六日午前十時より首相官邸に開き原首相、床次內相の挨拶あり國勢調査施行細則其他を議し午餐を共にし散會せり(東京特電)

◇南滿興業總會

南滿興業會社は十六日午後二時より鐵道協會に株主總會を開き當期決算四千八百五十一圓六十一錢を後期繰越しに決し同三時散會せり(東京特電)

◇瑞典駐日公使

瑞典駐日公使夫妻は十八日午前八時半東京發朝鮮經由支那漫遊の途に上る可しと(東京特電)

◇安達總務渡歐

安達政友會總務は近く歐米視察の途に上る可しと(東京特電)

◇宇都宮軍司令官

宇都宮軍司令官一行は江景より湖南線南行二番列車にて裡里著十六日夜群山一泊十七日全州著の豫定なり(裡里特電)

◇嚴柱益氏

嚴柱益氏は李王世子殿下御婚儀參列の爲め十五日午後一時半東京驛著芝佐久間町の信濃屋旅館に入れるが十六日朝李王世子邸に伺候し上京の挨拶を兼ね李王同妃李太王各殿下の御近況を言上せり(東京特電)

◇國澤理事長

國澤滿鐵理事長は十四日夜來長し十六日朝歸途に就けり用件は結氷中の輸送状態視察と社員慰問の由なるも長春驛積弊改革の爲め實地調査せるなりとの噂あり(長春特電)

◇伯爵團の協議

田中伯問題

貴族院伯爵團は十五日午後三時華族會館に集合出席者十三名にて田中伯問題に就き協議せるが中には伯に對して個人的に親戚の關係其他の事情あるものあり同團としては十五日限り此の問題と關係を絕ち伯爵中の有志に依り活動するに決せり(東京特電)

須磨子同葬問題

在東京 吐峯生

◇松井須磨子島村抱月同葬問題は、圖らず道德と人情との衝突を惹き起し候。當地の世論も興奮時代は過ぎて稍冷靜狀態に進みたれば、一言所感を披陳するも徒爾ならずと信じ候。

◇生前兩者の關係問題は暫く措き、近來文藝、藝術を口にする者、思想一方に偏向し、文藝、藝術のためには消德、習慣法律を破壞するも、甚だしく罪惡視せず、中には寧ろ之を鑑賞する者あるが如きは奇怪千萬の料簡に候。

◇古來幾多の情話あり、又古今の人情劇が人心の緩和に寄與せるもの少からずと雖も、之を現實の社會問題として超越と裁するに方りては、世の識者、先覺者たる者、感情の一方に偏向せず、よろしく妥當の措置に出で、一世を匡導するの用意を忘るべからず候。

◇何となれば如何に藝術家と雖も、現代の社會を超越したる特殊國民にあらず、又如何に藝術たりと雖も現代の道德に背き、國家の法律を無視して擅恣放縱の振舞を許さるれば也。

◇尤も人は理性に活ずして情愛に活き、社會の法律に支配さるゝよりも、自己の滿足に活きんとする者無きにあらず。然れども藝術家には藝術家自身の道德ありて社會一般の法則に抗し、文學者には文學者自身の生活ありて國民道德の司配を超越するが如く思はば、誤れるも甚だし、一思想家の内部生活の自由と、國民としての社會的共同責任とは自から別問題なれば也。

◇故に國民道德は文學者も之を尊重するの義務を有し、社會の習慣、國家の法律には藝術家も亦之に服する義務無きを得ず。彼等は何の資格ありて現代の道德と法律とに除外例を求むるか、吾人は更に之を解するに苦み候。

◇故に兩者の同葬問題に就ても吾人の見解は單純なり、寧ろ彼が如き不純の問題が、何故世人の討論を必要とするかを怪しまざるを得ざるものに候。情愛生活は彼等自らの内部的滿足に止めよ、苟くも社會の一員としては國民道德の司配を免れしむる理由を認むべからず。况んや法律問題をや。

◇吾人は抱月須磨子兩者の死屍を鞭つにあらず、たゞ世間往々情の一方に偏向して理解の公正を缺ふものあるを見、試みに彼等の注意を喚起したる迄に候。世には道人粹士多し、社會的生活の常道を忽みて情愛生活の滿足を求むる者、將來と雖も乏しとにあらざるべし。たゞ人の之を解するに方りて國民道德の常徑と社會の純良なる風俗とを鏡視する莫らん事を望むのみ。所謂藝術の爲めに人の醜惡を容れずと云ふが如きは吾人其の何の意たるを解せず(一、十一日)

◎郵貯新記錄

朝鮮郵便貯金は十四日に於て一千四百萬圓臺を六萬餘圓突破し新記錄を作れるが當局にては本年度末迄に三月頃を以て同額に達すべき豫期なりし由にてその增加の急激なるを異とし居れり尚ほ之れを昨年末に比すれば約七十萬圓の增加を來せるが原因は二月の納稅準備金貯蓄並に年末取立金の預入にあるべし又此の狀勢なれば年度末には一千五百萬圓臺に上るべしと

◎關稅收入千萬

客年十二月中朝鮮に於ける關稅收入額は合計百十八萬九千五百八十一圓にして一月以降の累計額九百九十二萬六千六百七十四圓を示し之れを前年累計額の七百二十六萬八千八百餘圓に對比すれば二百六十五萬七千七百餘圓の增收を示せり今當月中に於ける國稅收入内譯を示せば輸移出稅十萬九千餘圓輸移入稅百四萬七千四百餘圓噸稅九萬六千圓雜收入二萬三千三百餘圓なり

◎事業企畫内容

京城商業會議所の募案

輓近資金充實せる內地資本家が擴張又は新放資の途を求め事業の選擇又は其の計畫に關し京城商業會議所に照會し來る者尠からず依つて同會議所にては

△朝鮮の產業が勃興の運熟し來れるを思ひ此の際事業の計畫案を募り以て半島の開發に資せんとし昨年中懸賞金約六百圓を提供し資本金五十萬圓以上を以て朝鮮内に企業し得べき事業の計畫案を募集する所あり企業場所、資本金額、管理經營原料及び販賣方法販路及び販賣法收支計算並に目論見書等數字的採算を明示せる答案を求めたるが該事業計畫案募集は客年十二月末日を以て之を締切りたり右結果に關し大村書記長は語つて曰く『事業計畫案募集は豫て朝鮮内に於て

△有利有望なる諸種事業の目論見を立てたるものにして其の資本的經濟關係上より未だ企業し得るに至らざる企業家及び一方内地投資家にして鮮内放資を希望すれど事業の計畫或は其の選擇に不便を感じ居れる資本主と連絡し以て半島產業の勃興に資する所あらむとせるものなるが賞金の額なるに拘らず相當の事業計畫者を發見するを得たるは半島產業の爲め喜ばしき現象と信じ居れり本計畫案は既に客年末其の募集を締切りたるが應募者數十五名の内

△最も優良なるもの九通を撰び目下東拓理事、中央試驗所長豐永博士及び總督府生用商工課長の三氏に之が審査を囑託せり發表は本年三月末日にして今計畫案の種類一班を示せば製絲業、紡織計畫、澱粉を原料とする製紙事業、鮮人を顧客とする澱粉原料の酒造事業、化學工業用器製造、發條事業を基とする澱粉製造、貸家業其他數種にして主として鮮人の日常に屬することとて數字的採算其他の點に於て幾分粗漏を免れざるも

△事業の性質若しくは此種類としては鮮内稀に見る企業の覈として極めて眞面目なる計畫を見るを得べし』と

◎嚴俊源氏張宴

私立進明女子普通學校長嚴俊源氏は令息柱明氏陸軍步兵少尉任官披露の爲め十五日午後五時半朝鮮ホテルにて晩餐會を催したるが賓は李完用伯等卅二名にて宴酣なるや陽都守閔元植氏の通譯にて嚴俊源氏の挨拶李完用伯松永道長官の答辭ありて主客歡を盡し同九時半退散したるが近來稀に見る盛宴なりき

△嚴氏東上 嚴俊源氏は來る二十五日東京に於て擧行せらるゝ王世子殿下の嘉禮に參列の爲め二十七日午前八時半南大門驛發汽車にて出發東上す令息嚴柱明少尉も隨伴の爲め同道すべし

◎慶興丸の審判

朝鮮郵船會社木浦濟州島間定期航路船慶興丸(一九九噸)が客年八月二十六日木浦を發し濟州島西歸浦に向け航行中同日午後十時四十分上楸子島港外に於て濃霧の爲め針路を誤り坐礁し龍骨及び底部外板を損傷せる事件は當面の責任者として船長新潟縣人小島與三郎を海事審判所の審判に移し爾來審理中の處今回決審となり本件は被審人が潮流急激にして暗礁點在せる狹隘なる水路を航行中濃霧の爲め前路を望見し得ざる場合に於て附近に適當なる錨地あるに拘らず漫然航行を續行したる職務上の懈怠に基因するものとして一箇月間停止する旨の裁決言渡しありたり

◎練習所卒業式

總督府鐵道局練習所にては來る二十日午前十時より今回卒業生八十九名に對する卒業證書授與式を擧行すべしと

◎飯田大興會社長

去る九日來奉せし大興會社長飯田信太郎氏一行六名は陽地方業務視察中なりしが南は豫定の視察を了へ十四日夜來泰するが尙數日間滯在張巡閱使と會見重要事項の打合せを爲したる上歸京の豫定なり(奉天特電)

□慶州より

大町桂月

湖南線の論山驛外朝鮮最大の佛像なる石の彌勒を拜し轉じて大邱より輕鐵にて明月の夜ふかく小山の如き古墳纍々古蒼蒼涼たる古慶州に入申候

山自蒼々水自流。千年興廢眼前浮。古墳四面不知數。明月瞻星到慶州。

人事消息

十六日

△高橋樹次郎氏(平安北道事務官)同夜入城不知火へ
△河合梅三郎氏 △菊池富作氏 △澤永彥四郎氏 同日朝退城

鳥瞰錄

◇六年振りに入城して直ぐ北京に行つた興銀理事の岩佐理藏君、何しろ二億圓からの金を支那に貸さうと云ふのだから、その背負うた任務は重いものだ▲東拓理事時代に比べると痩せてゐるし、それにめつきり頭髮の飾りを失くしてゐる▲なぜかと聞いて見ると、年はとつたしね、それに流行性感冒に襲はれて腸加答兒とこの極めて厄介な病氣を患ひ二週間も飯を喰はぬから、此次第だ▲それにしては除り衰へてゐないつもりだぜ—病氣の爲めに北京行きも遲れた、東京の新聞では去年の暮に既に北京に行つてゐる事になつてゐるさ▲然し急ぐ行かぬさ、支那の舊正月に打突かる、舊正月前に交涉の頭だけ出しておきたいと思ひ、醫師は止めたが振り切つて出かけて來た▲京城は天氣のよいのが好い、今日(十六日)は四溫だね、三年振りの珍客を歡迎した譯か、などと例の如くコダワラヌ調子で、以前はなかつた顎髭をヒツパリ〳〵語つてゐた▲朝鮮電氣興業も出願したが、たゞ平壤の如き朝鮮の地方の企業にあれだけの發起人を內地に求めたのは大分骨が折れたらうとは何人も思ふ▲一つは朝鮮の事情が內地に了解され初めたからだが、然し平壤の現勢とその事業界の將來、企業の實質などをよろしく吹き込むのは可なり骨が折れたぜとは東拓當局の話しである

下關期米

東京期米特電

仁川米豆取引所

◎民本主義

—主張の現時、誠實博愛を標榜する民間治療法—

■腦病患者は憂ふる勿れ

戰後世界の平和を永遠に獲得せんが爲には自然の大法則に等しく全世界を通じて民本主義の思潮に依つて、あらゆる方面の進步發達が遂げられねばならぬ。この多事な過渡期に當り、最も注意を要するものは、能力稀薄の腦病患者の運命である。恰も奔流の如く社界文化の向上進步の華々しい現時、社界の落伍者として永久に葬り去られねばならぬ、腦病患者を誰か冷淡に路傍に放棄する事を悲しまずには居ましてか。民本主義主張の現在にして有爲なる青年を無能力者として捨得るであらうか。

■此處に腦病患者の聖書あり

腦病神經衰弱、即ち神經衰弱、ヒステリー等の共通性の經路として頭重く憂鬱となり、頭痛眩暈は亢ら頭痛背にヒツキが入るかと思はれ、或は倦怠を覺え記憶力減じ忍耐力稀薄となり、その悲的もなく焦燥し、遂にあらゆる刺戟に感銘し、厭世の觀念が頭をもたげ、精神の懊惱と苦悶とはやがて肉體に絕體的な死の宣告を下すに至るべき病なのである。この人生の最大不幸、最大罪惡を無意識の中に犯す者の、如何に悲慘なる事よ。同情に値する事よ。

■救濟主の前に額く者の幸福

此處に到つて雄然、而も神の如く御身等の前に跪く、救ひの主こそ斯界の大家、快腦良藥レーベンの發見者帝國醫學士と腦神經衰弱病專門家森田醫學博士共著の二冊の書物である。

以上の二冊を良劑レーベンの製發者、中南定太郎方に申込まれば無代で送達するから、それを精讀されば、大家の診療を受けると同じ效果が得られ、腦の營養素たるリンサンを多量に含有する同博士を初め諸大家の證明ある良劑レーベンを服用せらるれば、それこそ『鬼に金棒』の力強さがある。

生存競爭の激烈な社界に在つて、最後の勝利者の資本を尋ぬれば健全な肉體に宿る、健全な腦力に他ならないのである。多年慢性の腦病の人々は、一刻も早く米食の日本人に適合せるレーベンを服用し成功の近路へ一歩踏み入れられよ前記二冊の治療法は何人にも無代で進呈する遠慮は無用今直にハガキを以て申込あれ

申込所 東京銀座弓町 大阪安土町堺筋 中南定太郎

謹賀新年
安東縣五番通り二丁目
材木商 奧村組
電話一八六番

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)
電話二六〇番
酒井婦人病院
院長 酒井一郎

松井須磨子孃の自盡と音譜

須磨子孃は恩師抱月氏を慕ふの餘り突如悲痛なる遺書を貽して自盡せり回顧せば孃が半生は實に血の如く焰の如き灼熱せる藝術に生き藝術に死せり孃が吾劇壇に貽せる尊き藝術は永へに輝き孃が殘せる吾音譜は燃るが如き孃の藝術と艶麗なる聲音を永へに傳ふ孃の好記念は鷲印レコードを措いて他になし(賣切れの虞あり速に御請求を乞ふ) 定價一圓二十錢

二五二九 (さすらひの唄) わしがすきなは 二二三 ゴンドラの唄
二五三〇 今度生れたら 二二四 ローレライの唄
三七〇 森の娘 三七一 水藻の花
三七二 山羊さん火粉さん 三七三 わしが仲よしや

京城本町二丁目九
日本蓄音器商會
電話二二八三番 振替京城六八〇番

撫順炭
山下製コークス
特約販賣 京城府漢江通十三
實榮商會
電話一〇七番

旅行具專業 京城本町二丁目(電話九五四番)
岩田鞄店

眼科專門 入院隨意
京城明治町東拓横(電話二〇四四番)
江頭眼科醫院
日曜祭日午後二時迄 江頭富雄

李太王殿下御納 上下嘉品
品質撰擇

本品ハ純良白蔘ヲ原料トシテ精製セルモノニテ金褐色(紅蔘ト同色)ニシテ郁佳ナル雅味ヲ有シ、尾蔘ヲ原料トシテ速製セル暗黑色ニシテ苦味強ク鐵臭ヲ有スル粗惡品ト同視スベカラズ

強壯、補血、興奮、保溫、鎭痛、發汗、收斂等ノ作用ヲ有スルヲ以テ○神經衰弱○精力減退○老衰○貧血○胃病○婦人病○心臟病○腦病○慢性病等ニ應用セラル

特約大販賣店
京城太平通一丁目
京城日報社代理部
振替京城三〇〇番

……本年度は二百萬石乃至四百萬石の不足を生ず……心を與へ以て自己の持米若くは外國よりの輸入米を高く賣らんとす……るとしても朝鮮米……米穀を貯藏し萬一に備ふると共に……手段を講ずべきを以て世人も亦……

○最後の邦土を離れて
丹波丸萬里の途に上る

巴里講和全權委員西園寺侯は十六日午前十一時十五分山陽ホテルを出で郵船丹波丸に歸船したるが當日は海穏かに春光煦々として宛も特使一行の榮ある船出を祝福するに似たり一同は本船中央の食堂に集まり黑谷郵船門司支店長の挨拶あり川波中將の音頭にて特使の萬歳を三唱し三鞭の盃を擧げて其健康を祝りたるに對し西園寺侯は『老軀此大任を擔ひたる以上は邦家の爲め奮勵努力す可し』と述正午二十分纜を解きたり關門兩市の官民は數十隻の汽艇に滿船飾を施し汽笛を鳴らし萬歲を叫び丹波丸の後に追隨して之を送り偉觀を呈したるが特使の一行は孰れも甲板に立ち出て帽子と手巾を打振りて之れに酬い斯くて一行を乘せたる丹波丸は最後の邦土を離れ悠々波路を蹴つて鵬程萬里の途に上りたり（門司特電）

○未の年に羊を……
＝總督府の緬羊飼育奬勵＝
試驗の成績がよいので今年は雜種羊を繁殖さして農家へ配布する

◇未年のい、記念でゝないか◇　青木農務課長談

朝鮮總督府では八年度豫算中に緬羊飼育奬勵費十一萬二千圓を編入した未の年に羊の奬勵は誠にい、記念である此の奬勵方法と云ふは從來水原の勸業模範場と洗浦の飼育場で蒙古種の羊を四百頭購ひ入れて蒙古種とメリノー種との雜種羊を繁殖させて是れを各地の農家へ直接配布して飼育させ向後三年間で確定の成績を擧げ得たならば更に又多數の

◆試驗的 飼つて見た處が成績が非常に良好であつたので其雜種羊を六年度は北部の各道へ配布し翌七年度は南部の各道へ續いて配布して見た處が何れも成績が良好なので八年度からは更に蒙古種四百頭と外國のメリノー種百五十頭

◆緬羊を 購ひ入れて大々的繁殖を計つて將來は羊毛輸入の幾分かでも補ふと云ふ計畫である右豫算中には緬羊購入費の外之れに要する技師雇入等の給料の入つて居る事は勿論で洗浦緬羊場擴張費即ち飼育羊舍の建築費四萬六千圓も加へられてあると青木農務課長は語つた

○蓄音器を中心にして
樂げな大使の子女
＝新講和委員伊集院氏の留守宅＝

◇眞實ですか、僕達は未だ些とも聞きません◇

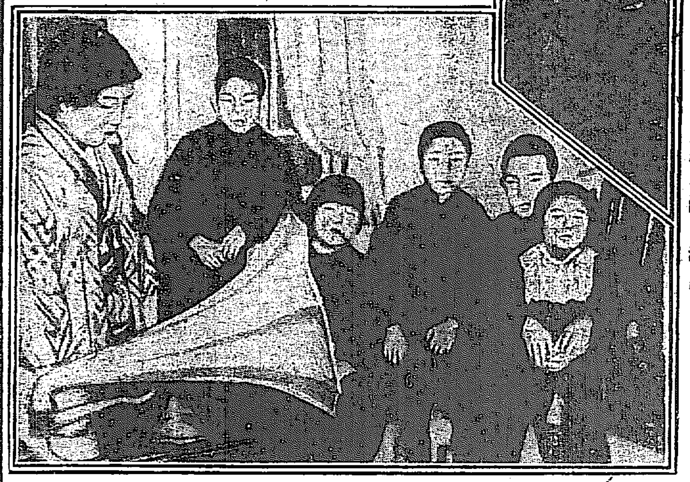
西園寺使節の出發た十一日の夜東中野なる新に講和全權委員に加へられた伊集院駐伊大使の留守宅を訪ねば芳子夫人（四〇）の外出不在中を次男清三君（十九）以下の孃ちやん坊ちやん方が

◇樂げな團欒 を作つてゐた蓄音器を中心にして記者と相對せる是等の少年少女團は御父樣が今度『西園寺さんなどゝ一緒に講和委員になられた』と聞いて『左樣ですか僕達は未だ开んな事些とも聞きません、御母樣だつて御存知ありませんョ』と眼を丸くする、取分け清彥君（十二）は溶けさうな顏をして『左樣ですか本當ですか』と悦しさうに念を押す『御父樣からお音信がありますか』と聞けば『ね、

◇始終繪端書 を贈つて下さるの、どツさり有つたけど皆失くなちやつた、去年のクリスマスの贈物は未だ屆かないんです』

すると一番下の藤子さん（八つ）は『此前のクリスマスに御父樣から外國のリボンを頂いた今年のは何でしやう？』と愛くるしく首を傾けて見せる、寫眞を寫してから清三君と淸子さん（十六）が交々語る『父は彼方でも大層丈夫なさうです日本を最後に出發しましたのが

◇大正五年で した身の廻りの事は此方から連れて行つた雇人が世話をしてゐます、日本人の料理人がゐて調理するさうで時々此方から食料品を送つて上げます、父は鯉が大好きです、留守宅では母も至つて壯健です一番上の兄さんは寄宿舍に居ます』と少年らしい敍述の裡に父君戀しの情が溢れて見ゐた（東京特信）



講和全權委員＝となつた伊集院大使（上）と大使の留守宅（下）　右より藤子孃、清三君、清彥君、恭子孃、四郎君、淸子孃

○勸業債券が　よく賣れる

第七十一回十四勸業債券は十五日より廿八日迄市內十八、百卅、第一、拓殖の四銀行に於て賣り出されたるが近來になき好況にて各銀行共門前市をなしたる狀態にて羽が生へて飛ぶ樣に買取られて行つた十八銀行の如きは引受け九百通の內四百通は賣出し當日既に買取られて行つた此勢ひで行けば三日目位には全部の賣り切れを見るだらうとの事であるが今回は各官廳會社等の職員連で一纏めにして買に來るのが多い由

○無線電信を…
地中、水中に使用す
戰時米國に發明さる

戰時中秘密に附せられたるが米國は無線電信を地中及び水中より使用したる事今回發表されたり右はジエームス、マー、ローシラース氏なる者の研究になりたるを完成せるものにて今日迄は唯だ受信用にのみ使用せられ地上の無線電信局が裝置緻密を要し巨額の費用を要するものより却つて良好の成績を得たりと（帝國通信社）

○異色の……
水原農林校
眞個の農業者になる試驗！

◇近く農大入學資格を得る　福岡農科大學長たるべき本田博士と同じく教授中田農學士と引坂

いた水原農林專門學校は愈に內地の高等農林同樣の資格を得近き將來に於ては農大入學の特典を得ると云ふので大に面目を一新する事となつた元來此の學校は本田博士が模範的農林校にしようと云ふ理想を以て居たので他の學校とは一寸趣きを殊にして居る例へば入學

◆最初の 一年間を以て實習期として學科はソッチ外け殆んど耕作や肥擔ぎのみをさせる是れが滿足に遣り通せた者は眞に入學の資格を得た者であるが中には一テも遣り切れないで退學又は轉校する者がある本田博士は是れが遣り通せない者では實際の百姓にはなれないと常に云つて居た位で即ち實習の一年間が生徒の意志試しとされてある此學校の所在地は

◆淋しい 箇所に建られてある關係もあるが風紀を亂す樣な眞面目な生徒は絕對にないと云つてよく殊に他校の生徒に一寸見られない事は生徒間に貯金思想が普及して國元から送つて貰つた學資金の中から貯金する者が大分あるので月末になると水原局を賑すそうである

○我が警官と支那兵の衝突

十五日夜十時東清線張家灣驛（哈市南）にて我駐在所勤務の瀧田岩川の兩巡査と支那兵衝突し我兩巡査負傷せり急報に接し我領事館より河野書記生警務署よりは警部補一名巡査數名を臨へ現狀に急行せり（長春特電）

○四石二斗
の餅を喰つて仕舞つた
釜山の練習艦

十四日午後一時練習艦の兩艦は釜山港外に投錨した記者は若松府尹と共に旗艦吾妻に司令長官中野中將を訪れ敬意を表す別室にて中村副官は語る『イヤ軍艦生活も面白いものです仁川に入つてからだつた十數時間を費し徹夜して餅を搗いたが若い連中の寄り合ひなので隨分元氣の良いもので四石二斗を搗いたがもう食つて了つた鎭海へ着いたのが大晦日だつたが淋しい事夥しい十六日釜山を出發して舞鶴大阪鳥羽と見學して二月七日横須賀へ入港の豫定であれから而して遠洋航海へ準備をして三月一日遠洋航海の途に就く筈である』（釜山）

○淸津の大雪
陸上交通杜絶

淸津地方は十四、五兩日夜降雪あり積雪二尺五寸に達し尙雪模樣あり今冬は一般に降雪多く近年稀有の事にて淸津以南の陸上交通杜絶せり（淸津特電）

○二人强盜
松丸太を持つて

京畿道高陽郡延禧面水色里の資產家俞聖文方に十四日夜十二時頃松丸太を携へたる二人の强盜忍び入り就寢中の主人俞聖文を散々毆打し有合せの金若干を强奪して逃走せんとするを折柄附近を巡察中の京城憲兵分隊水色駐在所の森影に憲兵が發見し直ちに犯人を逮捕したるが右犯人は同郡同里倉前里金炳九方金敬壬（十九）及び同郡神道面德隱里俞籌吉（三八）なる事判明せり

○酒が凍る北鮮
零下二十五度

北鮮地方の寒氣は舊臘末から酷烈を極め殊に元日から五日迄は零下二十度位を往來し四日朝の如きは二十五度に降つたので淸酒の如き凍つたほどの嚴寒であつた

○殺人强盜を
慘殺す

慶南陝川郡冶爐面某方へ强盜押入り主人を亂打し慘殺の上五圓餘强奪し逃走せんとするを附近の者が發見し十三名にて追跡中同に犯人を慘殺せし事發覺し同地警察署に犯人を逮捕せり詳細後報すべし（馬山）

東京大相撲
春場所五日目

東京大相撲五日目（十六日）の主なる勝負左の如し（東京特電）

勝		負
太刀錦	（押し倒し）	朝綠
荒石	（押し倒し）	浪綠
伊達錦	（押し切り）	太刀凰
鶴の海	（突き落し）	綾鬼
東雲	（寄り倒し）	光風
友の浦	（突き出し）	敷島
大の里	（寄り倒し）	朝見藤
八甲山	（寄り切り）	矢筈山
綾川	（捻り）	阿蘇ケ嶽
岩木山	（蹴手繰り）	太刀光
一湊	（浴せ倒し）	黑潮川
駒泉	（引き落し）	楯錦
大門岩	（肩透し）	若湊
宇都宮	（突き落し）	三杉磯
對馬洋	（上手投げ）	藤の川
朝潮	（吊り出し）	源氏山
大錦	（吊り出し）	琴ケ浦
栃木山	（掬ひ投げ）	大鳴門
中入後		
兩國	（掛け投げ）	大の高
白岩	（預り）	釋迦ケ嶽
紅葉川	（叩き込み）	逵の矢
大戶平	（寄り切り）	常の花
千葉崎	（捻れ込み）	福柳
九州山	（寄り切り）	淸瀨川
鳳	（預り）	宮城山

右の內▲友の浦に敷島 激しく突き合ひ突き出して友の勝▲大の里に朝見藤 は里右を差し左に朝の右を攻めつ、寄り倒して勝▲八甲山に矢筈山 は右四つに組み吊り合ひ八甲吊り身に寄り切りて勝▲綾川に阿蘇ケ嶽 は左四つ綾內廻し引き寄ると見せ右より左に捻り極つて綾の勝▲岩木山に太刀光 は太刀の押して出る左を岩手繰り引き廻し手繰り出して勝▲一湊に黑潮川 は右四つに組み黑二本差して吊り上しに湊防ぎ右內掛け浴びせ倒して勝▲駒泉に楯錦 は駒激しく突いては引くこと再三逵に引き落して駒の勝▲大門岩に若湊 は大門左り差すより早く寄り引きて勝

▲宇都宮に三杉磯 は宇都鋭く頤を攻め三杉堪へて左を差すや宇都擁へ持ち出すと見せ左足にて蹴返し宇都の勝▲對馬洋に藤の川 は藤左を差して寄れば對馬右小手投げ打ち藤殘して二本差し寄り進むや對馬上手投げ打ち極つて勝▲源氏山に朝潮 は好取組立上がるや右四つに組み源氏上手投げ打ちしも利かず朝下手投げ打ち殘すを吊り出して朝の勝▲大錦に琴ケ浦 は一合して左四つに組み吊り出て錦の勝▲栃木山に大鳴門 は鳴門鋭く突きしも利かず右四つに組み栃木寄り身の掬ひ投げ打ち勝にて中入▲兩國に大の高 は兩左內掛け投げにて勝▲釋迦嶽に白岩 は白双筈に押し進み釋迦粘つて左四つとなり寄り合ひ白寄り立て釋迦差手を右に代へ右四つとなりて吊り身に出づれば白危きところにて下手投げ打ち同體に落ち預かり▲逵の矢に紅葉川 は激しく突合ひ叩き合ふ內逵足を滑らして負▲常の花に大戶平 は一合して左四つ大戶寄り切つて勝は大喝采

▲福柳に千葉崎 は當日第一の好取組双方の腕撥倒る、が如し立ち上がるや爾突つ懸くるを千葉體を右に開き叩き込みしも利かず左四つとなり互に兩腕しぼくや千葉離れ懸つて寄り土俵際にて右外懸け離れ込んで千葉の勝は滿場大喝采▲九州山に淸瀨川 は左四つ一氣に寄り切つて九州の勝

▲宮城山に鳳 は鳳敵の左を引つかけ小手投げ打ちしより宮城隙け入り二本差して寄り進み鳳危きところにて右へ振り出し寄り切りしも鳳は鳳に揚がりしも寄り切りありこの物言付きて預かりとなる打ち出し六時

▽六日目取組

六日目（十七日）取組左の如し

陸山錦―獅子ケ嶽―花の山
浪の川―若太刀―射水川
若常音―小牛田山―大呷
若葉陸―摩耶凰―逆鉾
八甲山―矢筈山―阿蘇嶽
太刀光―宇都宮―若木山
兩國―若湊―一神力
大鳴門―逵の矢―大湊
友の浦―敷島―大戶平
―時津風―大門岩

三杉磯―御西山―九州山
福柳―淸瀨川―藤の川

中入後

千葉崎―鳳
宮城山―常の花
土州山―大の高―琴ケ浦
大の里―綾川
白岩―黑瀨川―朝潮
源氏山―對馬洋―栃木山
紅葉川―大錦

○葉書の切手
を楕圓形
三錢、四錢の切手を改正したい

＝池田印刷局長談＝

葉書の刷込切手が横に伸つたり一方に片寄つたり不體裁のものが頗る多いので三錢と四錢の切手が殆んど分けが付かぬ不便があるので池田印刷局長は色々考案中であるが近く遞信省に交涉して一新したいと言つて居るがこれに就き局長は曰く『現在のはがきの刷込切手は角型だが

◇角型だと 眞つ直に位置を取らないと誠に不體裁で仕方がない昨年來當局も非常に忙しい爲め遺憾ながら不體裁な刷方をしたはがきが隨分出て居る若し之が楕圓形なら少々横に捻つても一寸見た所で分からないから楕圓形にしたいと思つて居る、これは曾て餘程前にやつて居た事がある、そして下の端に刷込んである『遞信省發行』及び『印刷局製造』の文字を

◇楕圓形の 刷込み切手の上下に配つたら上の端の『郵便はがき』の文字と一緒に一箇所へ刷込めば好いから非常に手數が省ける又現在の意匠體裁が一見殆んど同樣で頗る不便だからこれも何とか工夫したいと思ふ尤もこれは遞信省の許可を經ねばならぬから近く其手續きをしたいと思つて居ること』（東京）

○桑港に西班牙感冒の猖獗
毎日數百人の患者を發生す

北米桑港にては近頃西班牙感冒再び猖獗を極め同地のみにて一日五六百の患者發生し居れりと（東京電）

○古物商總會

京城古物商組合の定期總會は既報の如く十六日午後二時より本町…に於て開催されたるが會員二百餘名に及び先づ七年度の決算報告承認あつて組長、副組長及び評議員の投票選舉を行ひ組長八木…十二、副組長に吉助兩氏重任し評議員は拾名の內三名…氏に代り…等新選さ、たのみにて他は舊評議員重任することに決し右終つて懇親會を開き五時散會せり

○薩摩琵琶大會

十七日午後六時より本町…館に於て正派、錦心派の薩摩琵琶大會あり曲目左の如し

櫻狩△別の國歌△俊寬△城△乃木…△孫…△湊川△成海…△橘…長△別れの盃△吉野落△九仲城

○管理所雇員募集

郵便貯金管理所にては男女雇員若干名を試驗の上採用する由詳細は同所庶務課に照會すべし又同所にては從前女子雇員を頭者にして有夫の者は採用せざりしが家庭の狀況に依り勤務上支障なきものは將來採用すべき方針の由

演藝

▲壽座 大阪歌舞伎若手一座四十餘名の一行は來る十八日京城へ乘込み來り翌十九日より賑々しく町廻りしたる上舊ち初日を開演する事となれるが一行の顏振れは…狂言は一番目…式三番、掛ひなりき初日外題左の如し…

春場所星取表

（○勝●負×分休△預）

東方		西方	
○○○△○	對馬洋	○○○△○	伊勢濱
○○○○●	大錦	●○○△●	千葉崎
○○○○○	栃木山	●○○○●	鳳
●●○○○	九州山	○○○○●	朝潮
●●○●●	常の花	●○○○○	錦島
○○○△○	宮城山	○○○●○	清瀨川
○○△○○	福柳	○●○○●	三杉磯
○●○○●	大門岩	○○○○○	藤の川
○○○○○	源氏山	○○○○○	紅葉川
○○○○○	釋迦嶽	○○○○○	大鳴門
●○○○○	駒泉	○○○○○	大ノ湊
○○●●○	西ノ湊	○●○○○	黑潮川
○○○○●	一山	○○○○○	琴ケ浦
○○○○●	兩國	○○○○○	若湊
○○○○○	岩木山	○●○○○	八戶平
○○○○○	綾川	○○○○○	大の高
○○○○○	逵の矢	○○○○○	阿蘇嶽
○○○○○	八甲山	○○○○○	小松山
○○○○○	大の里	○○○○○	矢筈山
○○○○○	宇都宮	○○○○○	白岩
○○○○○	友の浦	○○○○○	土州山
		○○○○○	鬼面山
勝星六十一負星卅一		勝星卅二負星五三	

正派薩摩琵琶會

此同正派薩摩琵琶一流ノ泰斗一段有馬良熊氏ハ滿鮮視察ノ途次入城セラレシヲ幸ヒ在京同好有志發起トナリ南山町京城ホテルニ於テ來ル二十五日（土曜日）午後六時ヨリ開催ニ付同好ノ諸士奮テ御來會アラン事ヲ

會費金參拾錢　京城同好者發起人

京日案內

寫眞技師及助手至急入用　見習生十二才以上　龍山驛前　獨立軒寫眞館

醬油釀造所讓渡

相當利益ある老舖店家屋敷共九千圓以下投資希望の者は至急來談

機械係入用

吸入瓦斯發動機に經驗あり工場監督として斯業に熟心なるもの　全北參禮驛　禮精米所

事務員招聘

簿記係若干名　多く外交に巧なる者數名招聘希望者は履歷書携帶午前中本人來談　京城長谷川町七六　京城殖產會

至急乳兒預け度し

乳兒は保姆的に雇入てもよし（本年九月生男子）希望の方は至急來談　京城太平町二丁目　遠藤

金細工職人募集

京城黃金町二丁目　電話一〇一五番　喜多金光堂金工部

毛皮なめし並仕立

鳥獸剝製標本類調製鳥類手羽買入　京城本町二　電話長二〇六五番

有給社員募集

月手當三十圓以上支給　希望者は履歷書携帶來談　京城黃金町　丁目　明治公債朝鮮支部

新古衣服注文送

質流小袖男物……

外勤社員募集

地方主任外勤社員募集……　愛國生命京城出張所

孫弘遠

鮮人店員　右ノ者都合ニ依リ解雇自今弊店ト一切關係無之此段廣告候也

記帳掛

簿記ノ素養アルモノ一名　希望者ハ自筆履歷書携帶本人來談アレ　京城蓬萊町一ノ九〇　平田運送店

彩色圖入　無代進呈　全一冊

肺病の解決

ハガキ…で申込めば郵送進呈す

六年間に亘る研究と實驗に依り始めて考案された藥化學療法を詳細に解說せる好著書なり

東京市向島小梅二二三　東京藥化學研究所

朝鮮總代理店　仁川本町四丁目　白神洋行

新田帶革

耐水調帶　バラタ調帶

京城南大門通　白神洋行支店

定價表申込次第送呈

アナタの胃病にはマーゲン

八木田總方　島田博士調製

強胃消化錠

本劑の特色

大阪市東區本町五丁目　田畑保藥房

賀 化病院

内科　小兒科　入院隨意　施療す

醫學博士　古城憲治

金澤醫學士　打田義芳

百圓

りん病　ばいどく

帝國醫科大學

大阪有田

大阪有田ドラッグ商會滿鮮本部　京城南大門外停車場通

京城黃金町三丁目　支店
龍山驛前停車場前　支店
釜山大廳町二丁目　支店
元山本町三丁目　支店
平壤櫻町十二番地　支店
仁川宮町二丁目　支店

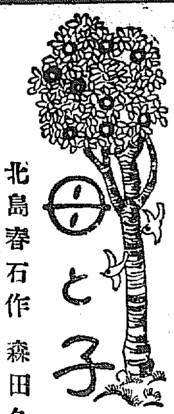
○朝鮮のにせ物

京城龍山仁川等各地ににせドラッグあり間違はれざる樣御注意を乞ふ

全國到る所の都市朝鮮滿州南清台灣等に支店あり

請合藥其他藥店販賣不許

母と子 (八十二)



北島春石作　森田久畫

朝凪 (二)

昨日、大仁驛から乘合自動車の厄介になり、六里の山路を揺られて、漸う伊東へ著いた折はもう黄昏すぎで、夜に入つてからは何處も見物する隙なく、まづ志保子の病氣見舞が濟むと、あとは浴後の快く神崎昇一郎は朝平を相手に酒を酌交した。

そして、今朝は旅づかれのあるにも關はらず早く目覺めたので、昇一郎は朝食の箸もそこ〳〵に、旅館の廣い庭園内を逍遥うてゐる志保子を呼びかけた。

『貴女は半年近くもこちらに居られるので、こゝの名所や古蹟は悉く御存知でせうな。』

『ね、あの。』と、常盤木の木陰に立寄り、志保子は答へに詰まつたやう、その葉の一つをむしつて眺めながら『何分にも病氣でございますから、あまり海岸の方までは散歩にも出かけません。』

『然し、さうは宿にばかり閉籠つて居られんから……』

『……それに熱海までは兩三度湯治にも來たが、僕もこの伊東は今度が始めてなので。何うでせう、別に御氣分が惡いやうでもなくば、今日は一つ御案内を願ひたいものですね。』

『ね、それは……』

志保子は肚胸を突かれた體で、昇一郎に對する答へに苦しんだ。その心中の切なさをよく見拔きながら、緣先の安樂椅子に腰をかけてゐた朝平は、如何にもぬけ〳〵した顏付で、

『いやもう、まことに結構で。』と横合から引取つた『手前もお供を申上げたいが、今日は會社の設計書を拵へる豫定なので……志保子、お前は早速神崎さんを御案内申上げたが宜からう。』

志保子は悲しげな眼色に父親を見たが、すぐ伏目になつて、痩肩から採出すやうな嘆息。

けれど、女の心に深刻な煩悶のあるも知らぬ昇一郎は、それを病氣のためとのみ、何處までも善意に解釋して、

『さあ、お父さんからもあゝしてお許しが出たのです。僕はこの儘で構はんから、貴女の御都合さへ宜しくば、切めて一二時間だけお附合を。』

『……………』

『あッは、、、お前のやうに手數のかゝる嬰兒も少いものだ。』と朝平はもどかしげに樣子を動かして『さあ、さあ、善は急げだから早くお供しなさい。』

それでも、志保子は無言のまゝで思案に打沈んでゐた……今思ひ出してさへ涙の種なのは、彼の夜に於ける愛し子幸枝との泣別れである。

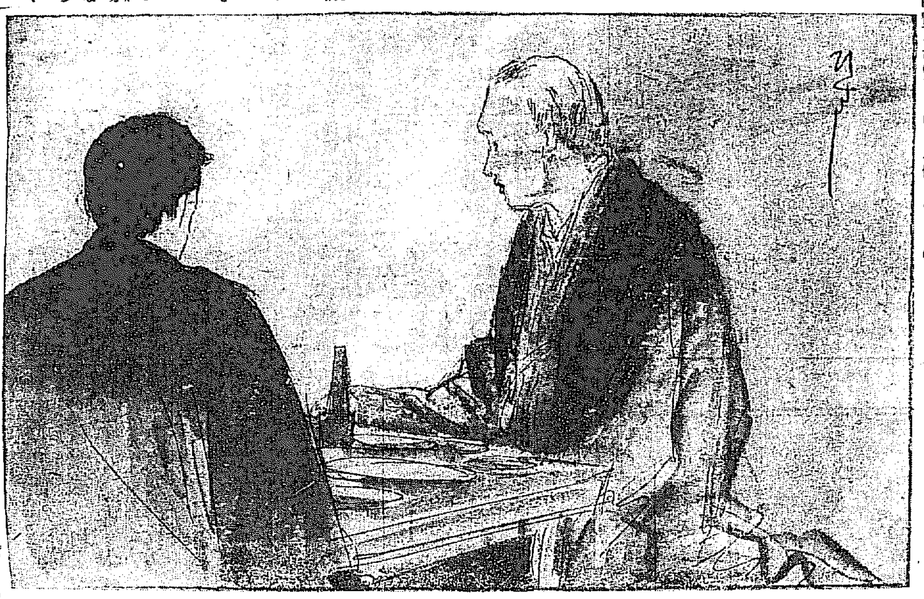
命の綱とも頼む叔父の森泉直樹が不時の災難を受けしとの報知が

に幸枝を奪はれ自分も又父親が暴力を振るふもとに、直ちに彼の自動車で靈岸島へ運ばれ、その夜のうちに無理から汽船に乘せられ、つひにはこの伊東へと……あれほど互に相慕うた親と子とが、離れ〴〵に配所の月を見る悲しさ佗しさ。

折角、久し振りで攫んだ一萬圓は、夢で金を拾ひしより儚く空に消ねて、その辨償がされぬ苦しまぎれ、反間苦肉の策略をめぐらし、首尾よく志保子をとつて押へた朝平は、この伊東へ來てからは晝夜のわかちなく膝詰談判、何でも神崎家へ再婚させんものと死物狂ひ、されど、志保子はいくら父親から責立てられても、二度の良人に見ゆる氣にはなれず、唯々幸枝のことのみが案じられて、明けても暮ても憂に泣血の涙をしぼるばかり、その結果が、つひに昨夜から今朝の出來事となつたのである。

父親には、何と泣きすがらうとも甲斐なしと知れてゐるので、これは神崎昇一郎に一切の秘密を打明け結婚問題を水に流して貰はうと……それが何よりと漸々思案が纏つたので、始めて重い口を開いた。

『では、どちらへでもお供をさせていただきませう。』



皮徽科
皮膚病 黴毒病 淋病 膀胱病 生殖器 機能障碍
入院隨意 (診察夜九時迄)
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目(元二丁目)
佐藤醫院
電話一一七三番

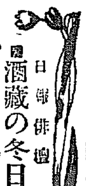
院長 醫學士 森定吉
(芙蓉醫院改め)
森病院
内科 小兒科
入院隨意
京城明治町二丁目 舊鶴田醫院跡
電話二六二三番

◎鮮人教育
内地視察團より (承前)

◇翌二日珍らしくも折あしくも雨降り小生及び山路玄の二人には早稻田なる長谷川總督閣下の私邸に候し刺を呈して敬意を表し申候が他の團員は雨を侵して高等師範附屬校にまゐり申候小生等も遲れ馳せにかけつけ一同と共に幼稚園保育の狀況を見學仕り候此校には鮮人の女生徒三名あり異鄕の邂逅にして團員中には師弟或は同鄕の誼あるものありたれば格別うれしき樣に見受けられ候彼女等は和服を著け一見鄕臭を脱し居るには小生も驚き申し候卒業歸來の日只其の外見のみならず母國の精神を採取し來りて同胞の弟妹に導へられんことを希ひ其の自覺と勉強とを祈りて袂を別ち申し候次いで教育博物館にまゐり候處新學態々說明の勞を執られたれば會得する處多々恰もよし同館内に家事科學展覽會開催中なりしが特にこれをも見學仕り候多く現今の科學の知識を應用して衣食住の改良を企てたる新案斬匠の陳列なれば頗る趣味多く被存候内地にありては斯かる方面にも研究行はれ社會の進步が多方面に行き渡れるをこれにて知らしめたるは仕合せ至極に候我が朝鮮の如き徒らに舊套を株守し〔家庭生活の改良に心を致すの少きは決して慶事にあらざるべしと申合ひ候引き續き寒雨を侵し泥を侵して高等師範附屬校の附屬小學校と啞學校とを參觀仕り候殊に後者にありては小西校長諄々として說話なされ候聖代の恩文化の惠は斯る不具者にも浴被して各其處を得せしむることの有り難く被存一生を斯道に傾注して悔いざるこの志し校長の人格にはいたく感動せしめられ候

◇それより遊就館を見、靖國神社に詣で夜暮朝鮮留學生監督部を訪ひ留學生の現狀を聽き其寄宿の狀況をも目睹仕り候監督部の懇切なる始終在京學生の志業の成就せんことに意を排ひその寄宿舍の如きも彼等の嗜好習慣に副はんがために朝鮮人コックを置けるなど見ても略其の注意の一斑を知らるべしと存じ候學生志向の確立せざるものが徒らに内地留學の美名にあこがれて輕卒にも上京し一定確實なる學校にも入學することなく其の中に誘惑に醉ひて一生を誤り父兄の深憂を招き輿黨の指彈を受くるに至れるもの多きは誠に遺憾のことなればこの點につき特に地方教育家の注意を望むこと荒木監督が熱涙を揮ひて說かれしには今更の如くに感動仕り候此の夜一行の爲めに總督閣下特に宴を富士見軒に張り村田武官長、神田秘書官、大城戸囑託の諸君をして接待せしめられ候光榮ただ〳〵感悚の外なき事に候僻邑寒陋の團員等が成繼に對し忸怩として箸をつくる術を知らざるが如き有樣にて只管禮を失はざらんとする苦衷笑止千萬に御座候さるにても斯る厚遇を忝うするは全く教育の賜にあるがためならん今日の光榮管に我團員のみの受くべきものならん哉と深く自重自戒の念を惹起せしめ申候歸途後折からの雨をも泥をも物ともせず只管東京を知らんとて三々五々町に出で、買物など致し候もの多かりき

日曜俳壇



酒藏の冬日　鴨原

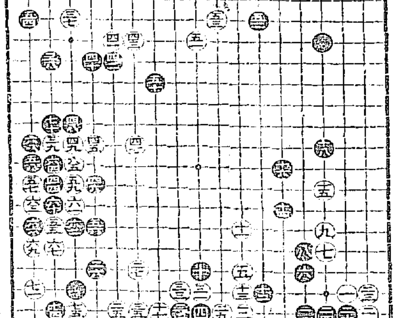
藏男がほんやり立てる酒藏の冬日
蔀に蕃ぐダリヤ黑ずみ刈らるゝ
靜かな子供視る蜜柑たべて居り
暖爐離れ席はつき朝の茶が汲まれ
客引並びゐて雪降る波止場
シグナル赤く灯りたり雪の田の中
壁張り上げ少年歌ひ雪が降るかな　文而玉
○
風は靜まり冬日の人の働ける

線路工夫が草を掃く線路光れり
枯草を掻く子に鳥下りて來し
年寄に杖參らする雪ぞまぶしく
下男に代り遣り寒さ嬉しめり
枯草燒かれ枯野の土は暖く
夕べ淋しう水踏みし下の水音　耳
○
夕雨の部屋暗く水仙が光つて
手紙書く妹が美しい水仙
お前だけ蓉式の紺で水仙の園
逝きし友に
水仙が私だけに咲く今年です　維
ティを訪ひて
水仙にカーテンの新しい部屋で
フト話が切れて水仙の側の時計が
アナタの說を感じて水仙を見詰め　再生子
○
もう暮るゝ入日に向ひ薪塀の親子
庭をとかして登り畑の土肌の光り
泉地の雪掃かれ前栽に香匂ひ
青い作業服が目立て冷たい林檎
我に似し我子の辯を叱りては恥ぢ
古鄕へ歸へる妹に雪は消えず光り

園冬。句。九勢。京釜線永登浦松田常雷
宛箋ありたし句數等制限なし

碁戰 (五)

三段 山平
二子 白 南主 評



六一	六二	六三	六四	六五	六六	六七	六八	六九	七〇	七一	七二	七三	七四	七五
た十三	た十三	そ十二	れ十一	た十〇	そ十三	れ十四	そ九	そ十四	れ八	そ十六	れ十七	た八	に六	た十七

◎戰時事業保護

戰時外國製品の輸入杜絶と共に政府の保護と奬勵により勃興したる各種事業は……之れを察するに難からず政府當局に於ても深く此點に留意して今後を期攻すべく……事業者に對する利益を無視する結果……法律の改正案等を提出すると無からしむ(東京)

在米正貨運用

……其他日米爲替相場維持に關し日本政府より米國に在る正貨を……は大藏次官レウフヰングウヰル氏に宛正式通告したるに同氏は本件の趣旨並に之に對する米國大藏省の……が大藏省證券に應募したる顛末……米國大藏省證券に運用するに決定……又は米國に於ける金輸出禁止の關係にて逐漸增加し來り今や政府所有高に日本銀行所有高を加へ……不利なるものありしに鑑み今後は……米國政府の希望する所を容ひ之を在……英正貨前據短期債券に運用するに……期に限り居れり……當局の希望する所を聞くに在外正貨の……

りん病 急性慢性を問はず 林滅 配合せる最近發見の新藥を治速なり藥價一圓四十錢二圓七十錢四圓 送料不要

ルーデサック 特製品
A 十個五十錢 廿個九十錢 B 十個 一圓 三十錢 變形一個七錢 十錢廿個一圓 女用一個八十錢 郵券(三錢)代用一割增 料不要 十個以上
京城黄金町三 振替京城三七三 山田文殊堂藥房

天下一品 白鶴 仁川 本町一 三丁目 增本酒店

互光商會 汽船廣告
◎元山、西湖、城津、清津行 月日釜山出 ◎門司、宇品、神戸、大阪行 月日元山出
第三 ……丸 ……
釜山 大池回漕部 電話一三

尼崎汽船出帆
群山木浦下關大阪行 君が代丸 十一月二十五日後四時出 大有丸 十一月二十一日後四時出
群山木浦釜山下關神戸大阪行 代丸 十一月二十日後四時出
仁川海岸通二丁目(電話五九番) 宮杉回漕部

共同汽船出帆
大連直行(關東都督府命令船) 共同丸 十一月十七日後港入 十一月十八日正午出
大阪神戸宇品行 北鮮航路 ……
仁川代理店 京城取次店 ……